



2021年度 第3四半期（4-12月） 決算説明会【電話会議】

コマツ出席者

取締役（兼）常務執行役員CFO	堀越 健
常務執行役員経営管理部長	森下 正敏

2022年1月31日（月）

目次

I.2021年度 第3四半期（4-12月）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2021年度 第3四半期（10-12月）の概況
- P7-P8 : 2021年度 第3四半期（4-12月）の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2021年度 第3四半期（4-12月）の状況（概況・セグメント売上高・利益）
- P11 : <リテールファイナンス> 2021年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2021年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

II.2021年度の業績見通し <P14-P24>

- P15 : 2021年度の見通し
- P16-P21 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P22-P23 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P24 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P25-P34>

- P26 : Komtrax日次平均稼働時間推移
- P27-P31 : 四半期毎の状況
- P32-P34 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I .2021年度 第3四半期（4-12月）決算の概要

2021年度 第3四半期（10-12月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+30.2%増収の7,232億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+85.4%増益の874億円、売上高営業利益率は+3.6ポイント上昇し12.1%。
- ・ 純利益は前年同期比+117.4%増益の623億円。

金額単位：億円	2020年10-12月	2021年10-12月	前年同期比	
	¥104.9/USD ¥123.4/EUR ¥15.7/RMB	¥112.9/USD ¥129.7/EUR ¥17.6/RMB	増減	増減率
連結売上高	5,555	7,232	+1,676	+30.2%
セグメント利益	474	857	+382	+80.7%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 2	17	+20	-
営業利益	471	874	+402	+85.4%
売上高営業利益率	8.5%	12.1%	+3.6ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 23	3	+26	-
税引前純利益	448	878	+429	+95.9%
当社株主に帰属する当期純利益	286	623	+336	+117.4%

2021年度 第3四半期（10-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+30.7%増収の6,601億円。セグメント利益は前年同期比+94.2%増益の732億円。セグメント利益率は+3.6ポイント上昇し11.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+5.0%増収の176億円。セグメント利益は前年同期比+55.7%増益の54億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+35.4%増収の501億円。セグメント利益は前年同期比+32.7%増益の64億円。

□ : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年10-12月		2021年10-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	5,555		7,232		+1,676		+30.2%	
建設機械・車両	(5,040)	5,052	(6,590)	6,601	(+1,549)	+1,549	(+30.7%)	+30.7%
リテールファイナンス	(147)	167	(146)	176	(▲1)	+8	(▲0.7%)	+5.0%
産業機械他	(367)	370	(495)	501	(+128)	+131	(+35.0%)	+35.4%
消去	▲34		▲46		▲12		-	
セグメント利益	□ 8.5%	474	□ 11.9%	857	□ +3.4ポイント	+382	+80.7%	
建設機械・車両	□ 7.5%	377	□ 11.1%	732	□ +3.6ポイント	+355	+94.2%	
リテールファイナンス	□ 20.8%	34	□ 30.9%	54	□ +10.1ポイント	+19	+55.7%	
産業機械他	□ 13.2%	48	□ 12.9%	64	□ ▲0.3ポイント	+15	+32.7%	
消去または全社	13		5		▲7		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量増、為替差および販売価格のプラス影響により増収、物量増等により増益。

■ リテールファイナンス

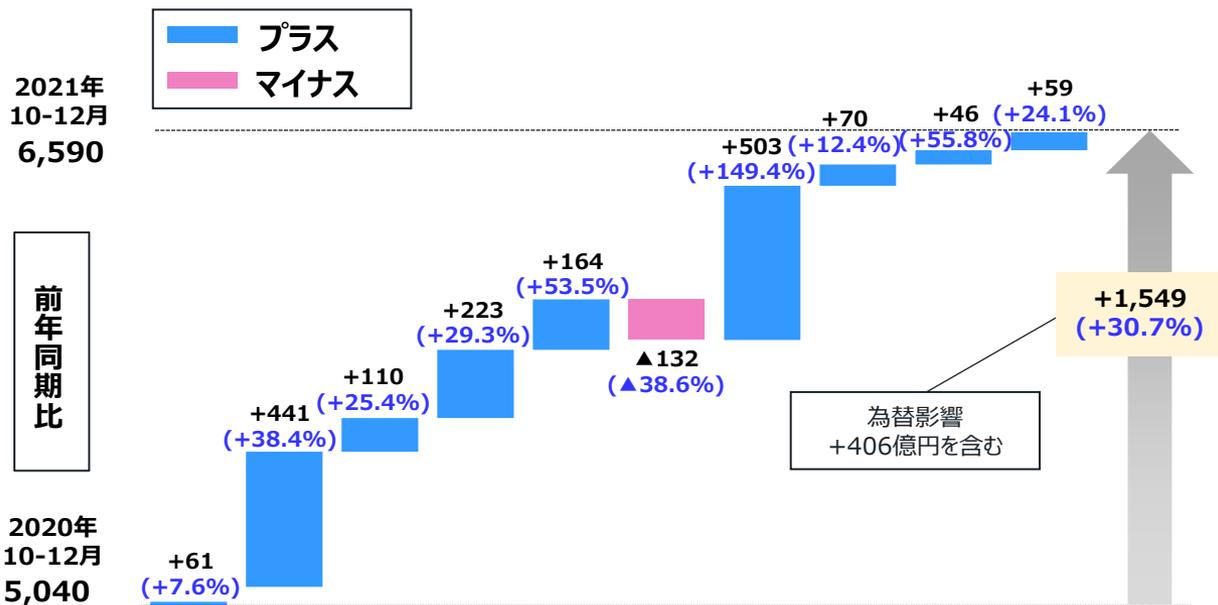
建設機械・車両の販売増に伴う新規取組高の増加により増収、好調な市況を背景としたリースアップ車の評価額の改善や再販益、貸倒引当金の減少等により増益。

■ 産業機械他

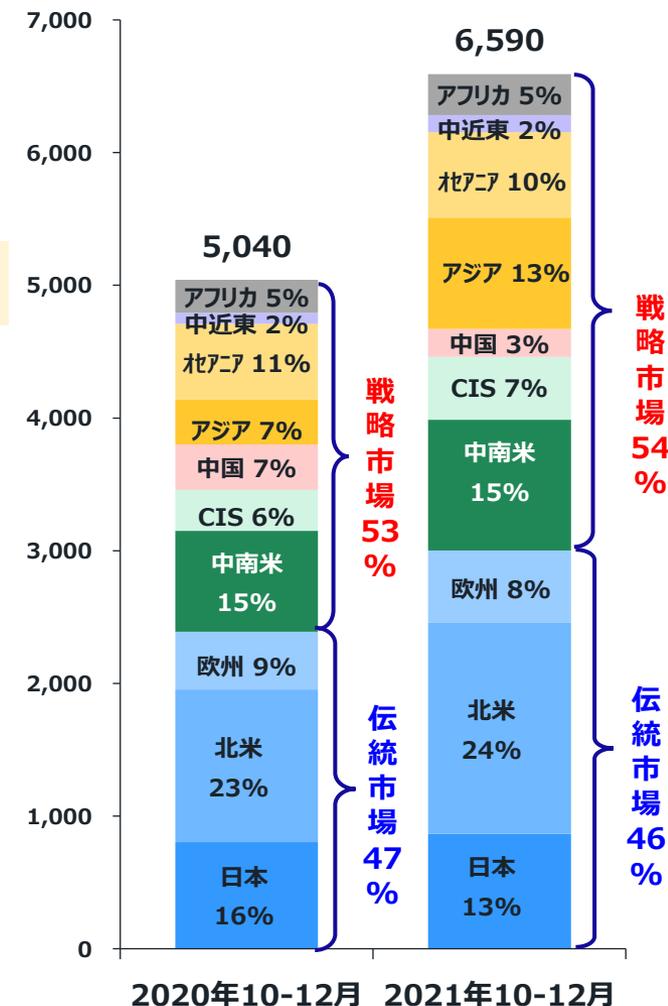
自動車産業向けは、中国向け工作機械の売上が増加したこと等により増収、増益。
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連等の売上が好調であったことにより増収、増益。

<建設機械・車両> 2021年度 第3四半期（10-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+30.7%増収の6,590億円。
- ・中国を除くすべての地域で増加。アジア、北米、中南米、CISで大きく増加。
- ・戦略市場の比率は54%に上昇。



(金額単位：億円)



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2020年 10-12月	804	1,148	436	761	307	342	336	572	82	248	5,040
2021年 10-12月	865	1,590	546	984	472	210	840	643	128	308	6,590
増減	+61	+441	+110	+223	+164	▲132	+503	+70	+46	+59	+1,549

伝統市場

戦略市場

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

2021年度 第3四半期（4-12月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+33.1%増収の2兆146億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+108.1%増益の2,237億円、売上高営業利益率は+4.0ポイント上昇し11.1%。
- ・ 純利益は前年同期比+135.7%増益の1,555億円。

金額単位：億円	2020年4-12月 ¥106.4/USD ¥122.1/EUR ¥15.4/RMB	2021年4-12月 ¥111.0/USD ¥130.6/EUR ¥17.2/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	15,133	20,146	+5,013	+33.1%
セグメント利益	1,082	2,205	+1,123	+103.8%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 6	32	+38	-
営業利益	1,075	2,237	+1,162	+108.1%
売上高営業利益率	7.1%	11.1%	+4.0ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 41	5	+47	-
税引前純利益	1,033	2,243	+1,209	+117.0%
当社株主に帰属する当期純利益	659	1,555	+895	+135.7%

2021年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+33.6%増収の1兆8,455億円。セグメント利益は前年同期比+113.3%増益の1,918億円。セグメント利益率は+3.9ポイント上昇し10.4%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+10.2%増収の545億円。セグメント利益は前年同期比+62.5%増益の132億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比+29.3%増収の1,318億円。セグメント利益は前年同期比+67.8%増益の150億円。

□ : 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年4-12月		2021年4-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	15,133		20,146		+5,013		+33.1%	
建設機械・車両	(13,684)	13,817	(18,406)	18,455	(+4,722)	+4,637	(+34.5%)	+33.6%
リテールファイナンス	(436)	495	(435)	545	(▲1)	+50	(▲0.3%)	+10.2%
産業機械他	(1,012)	1,020	(1,304)	1,318	(+292)	+298	(+28.9%)	+29.3%
消去	▲199		▲172		+26		-	
セグメント利益	□ 7.2%	1,082	□ 10.9%	2,205	□ +3.7ポイント	+1,123	+103.8%	
建設機械・車両	□ 6.5%	899	□ 10.4%	1,918	□ +3.9ポイント	+1,019	+113.3%	
リテールファイナンス	□ 16.5%	81	□ 24.3%	132	□ +7.8ポイント	+51	+62.5%	
産業機械他	□ 8.8%	89	□ 11.4%	150	□ +2.6ポイント	+60	+67.8%	
消去または全社	10		3		▲7		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量増、為替差および販売価格のプラス影響により増収、物量増等により増益。

■ リテールファイナンス

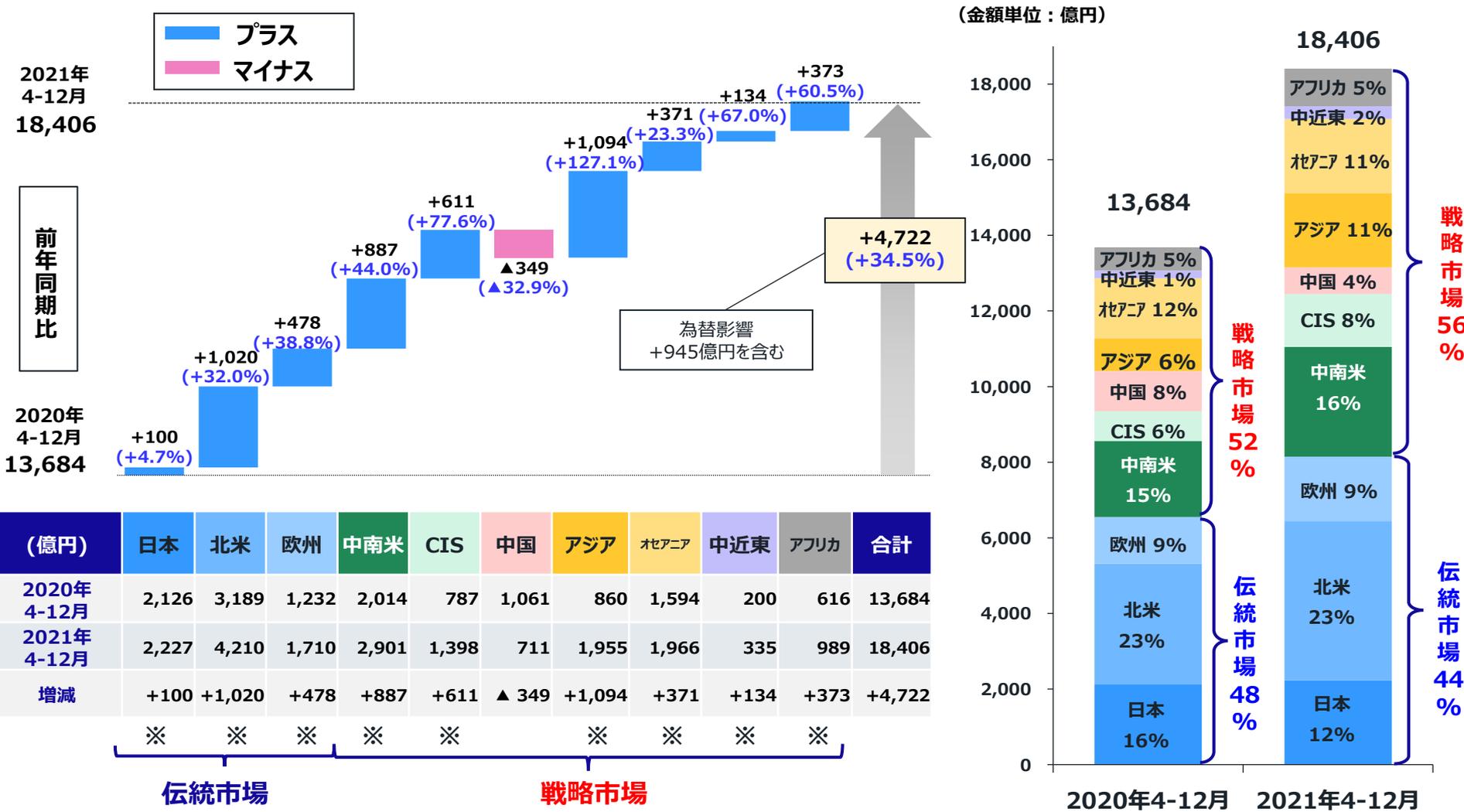
建設機械・車両の販売増に伴う新規取組高の増加により増収、好調な市況を背景としたリースアップ車の評価額の改善や再販益、貸倒引当金の減少等により増益。

■ 産業機械他

自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、海外顧客向けの据付け工事の完了等により増収、増益。
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連等の売上が好調であったことにより増収、増益。

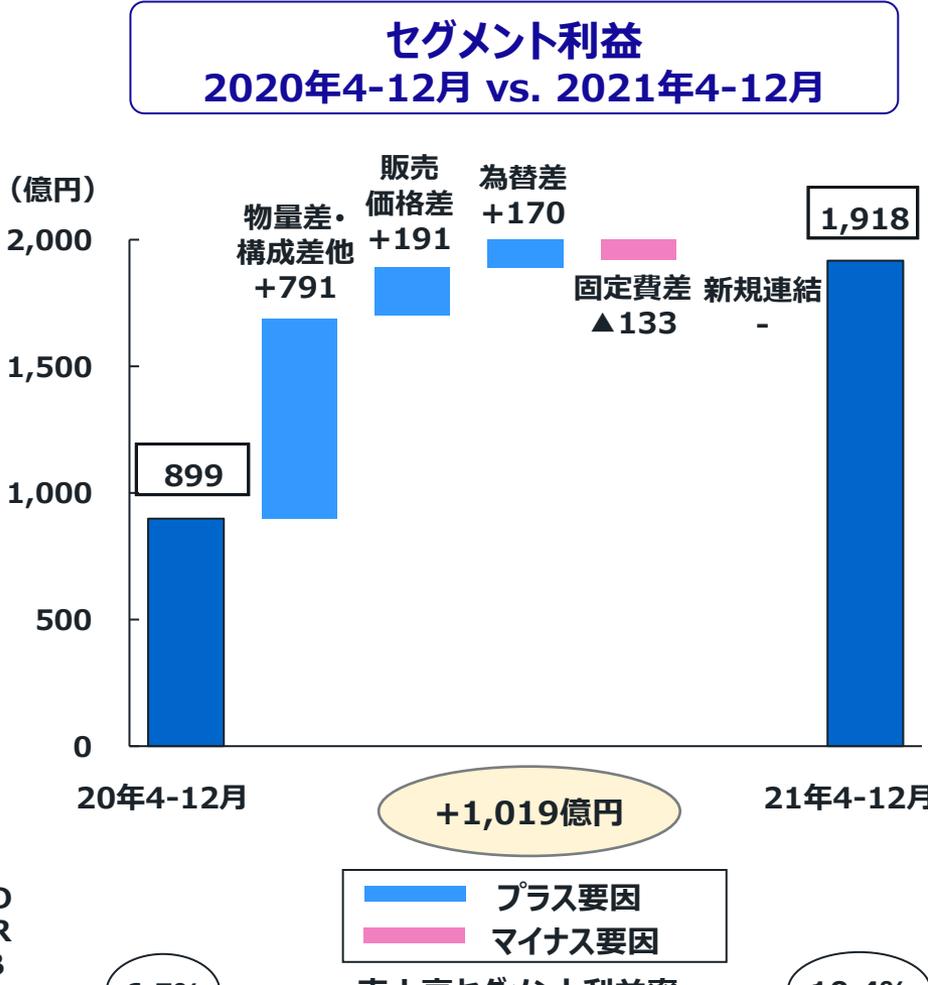
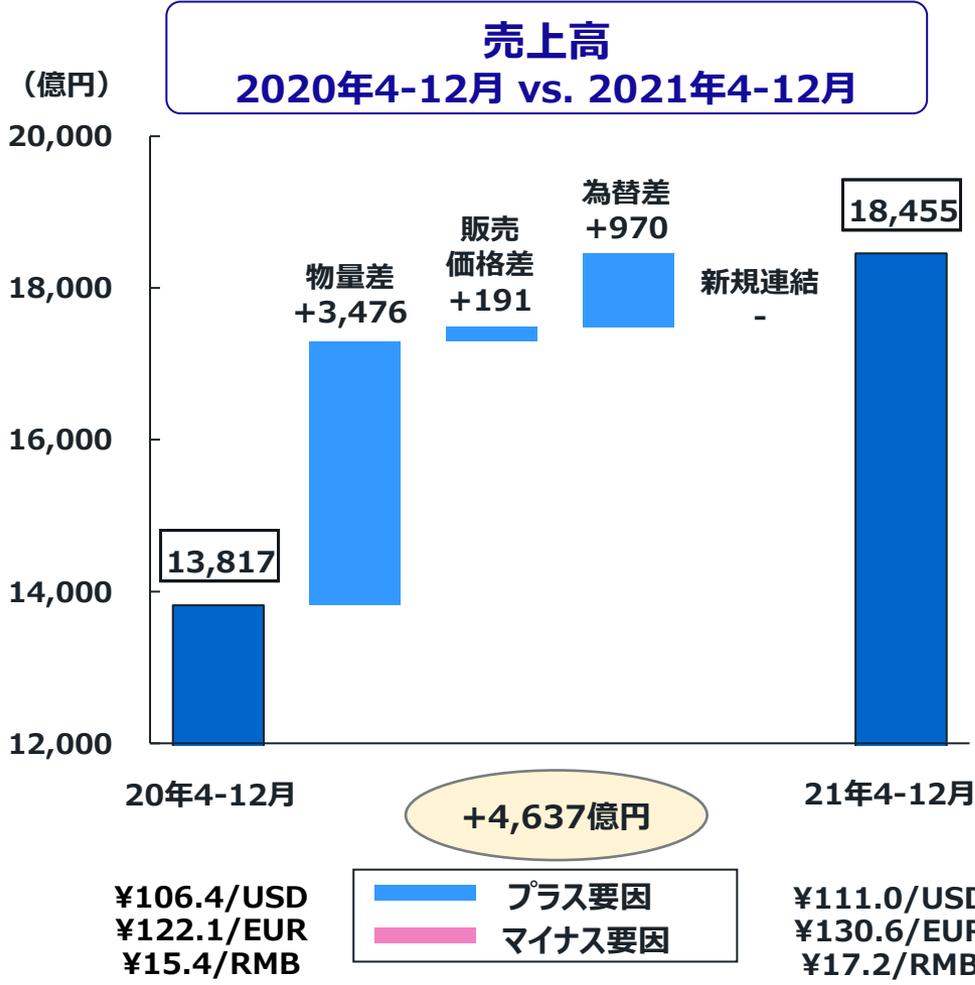
<建設機械・車両> 2021年度 第3四半期（4-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- 外部顧客向け売上高は前年同期比+34.5%増収の1兆8,406億円。
- 中国を除くすべての地域で増加。アジア、北米、中南米、CISで大きく増加。
- 戦略市場の比率は56%に上昇。



<建設機械・車両> 2021年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、物量増、為替影響および販売価格のプラス影響により、前年比+4,637億円の増収。
- ・セグメント利益は、物量増等により、前年比+1,019億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+3.9ポイント上昇し10.4%。

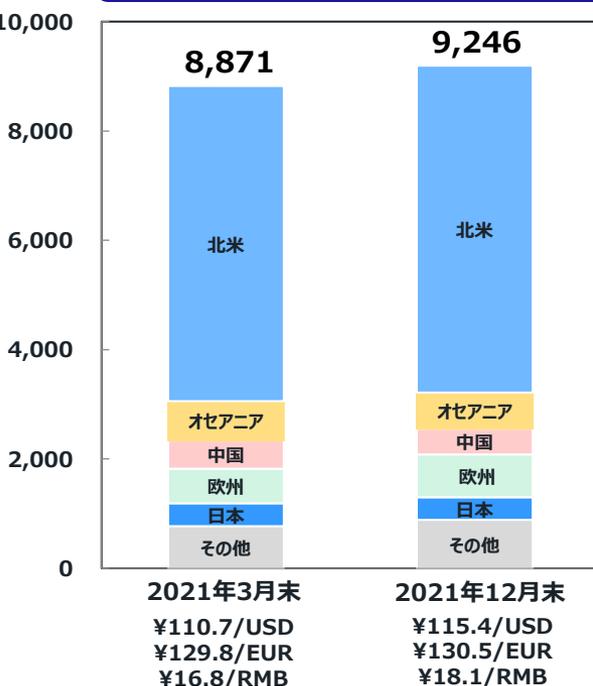


<リテールファイナンス> 2021年度 第3四半期（4-12月）の状況

- ・資産は、主に新規取組高の増加や為替の影響により、前年度末比増加。
- ・新規取組高は、建設機械・車両の販売増に伴い、前年同期比+1,094億円の増加。
- ・売上高は、新規取組高の増加により、前年同期比+50億円の増収。
- ・セグメント利益は、売上高の増加に加え、好調な市況を背景としたリースアップ車の評価額の改善や再販益、貸倒引当金の減少等により、前年同期比+51億円の増益。

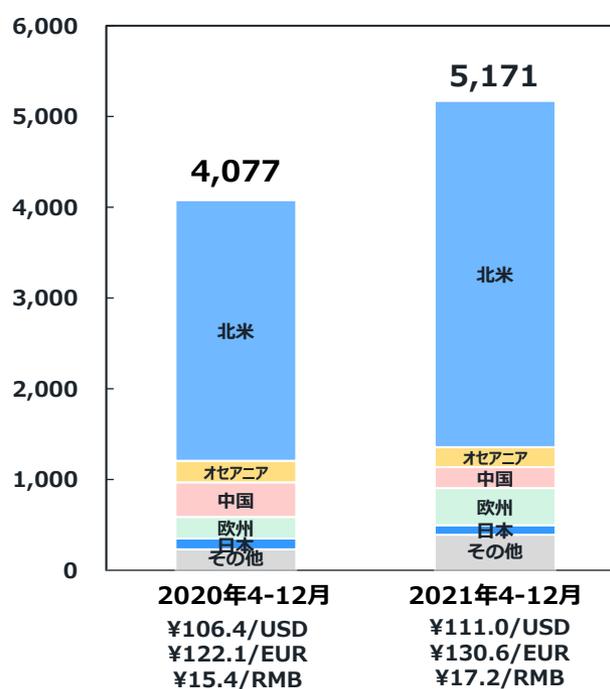
資産

2021年3月末 vs. 2021年12月末



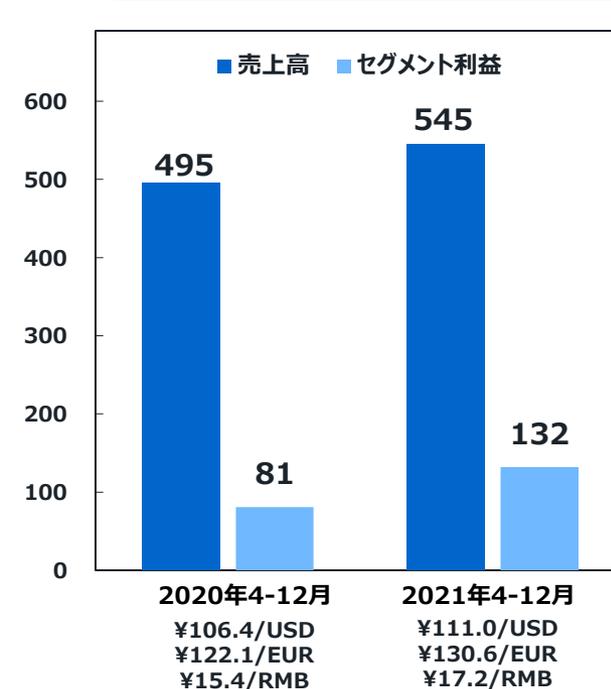
新規取組高

2020年4-12月 vs. 2021年4-12月



収益

2020年4-12月 vs. 2021年4-12月

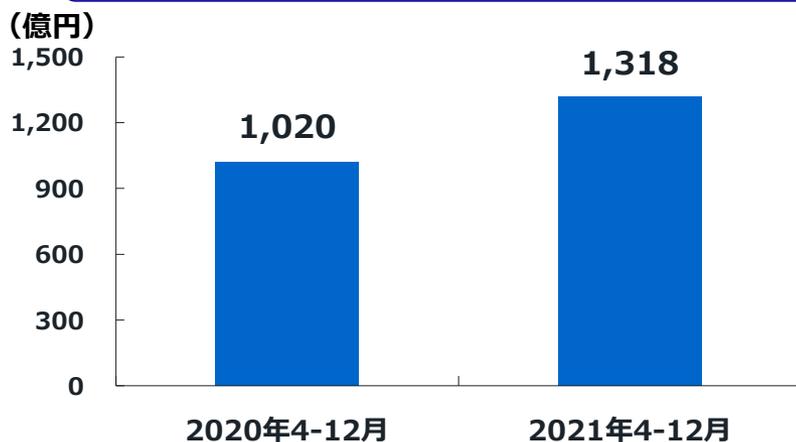


金額単位：億円	2021年3月末	2021年12月末	前年度末比
借入金	6,747	6,992	+245
ネットベースの借入金	6,723	6,934	+211
ネットD/Eレシオ	3.69	3.49	▲0.2ポイント

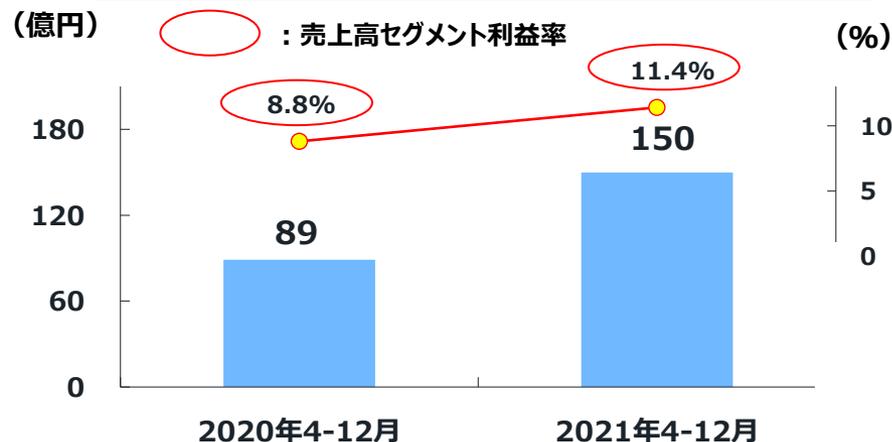
<産業機械他> 2021年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は前年同期比+29.3%増収の1,318億円、セグメント利益は前年同期比+67.8%増益の150億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は増収、増益。半導体産業向けは、エキシマレーザー関連等の売上が好調で増収、増益。
- ・売上高セグメント利益率は11.4%。

売上高
2020年4-12月 vs. 2021年4-12月



セグメント利益
2020年4-12月 vs. 2021年4-12月



売上高の内訳

(億円)	2020年 4-12月	2021年 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	287	377	+90	+31.3%
コマツNTC	205	269	+63	+30.9%
ギガフォトン	293	393	+99	+34.0%
その他	233	278	+45	+19.3%
合計	1,020	1,318	+298	+29.3%

連結貸借対照表

- ・総資産は前年度末比+2,425億円増加の4兆273億円。建設機械・車両の需要増加に伴い棚卸資産が増加。
- ・株主資本比率は前年度末比+0.7ポイント上昇の51.2%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2021年3月末 ¥110.7/USD ¥129.8/EUR ¥16.8/RMB	2021年12月末 ¥115.4/USD ¥130.5/EUR ¥18.1/RMB	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	2,431	2,733	+301
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	12,675	13,323	+647
棚卸資産	7,938	9,013	+1,074
有形固定資産	7,873	7,922	+48
その他資産	6,929	7,281	+352
資産合計	37,848	40,273	+2,425
支払手形・買掛金	2,583	2,869	+286
借入金・社債 [b]	9,099	9,239	+139
その他負債	6,045	6,299	+254
負債合計	17,728	18,408	+680
（株主資本比率）	（50.5%）	（51.2%）	+0.7ポイント
株主資本	19,122	20,637	+1,514
非支配持分	997	1,227	+229
負債及び純資産合計	37,848	40,273	+2,425
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	○0.35 6,668	○0.32 6,506	▲162
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.00	▲0.02	

Ⅱ.2021年度の業績見通し

2021年度の業績見通し

・年間の業績見通しは前回の2021年度見通し（10月）より変更なし。

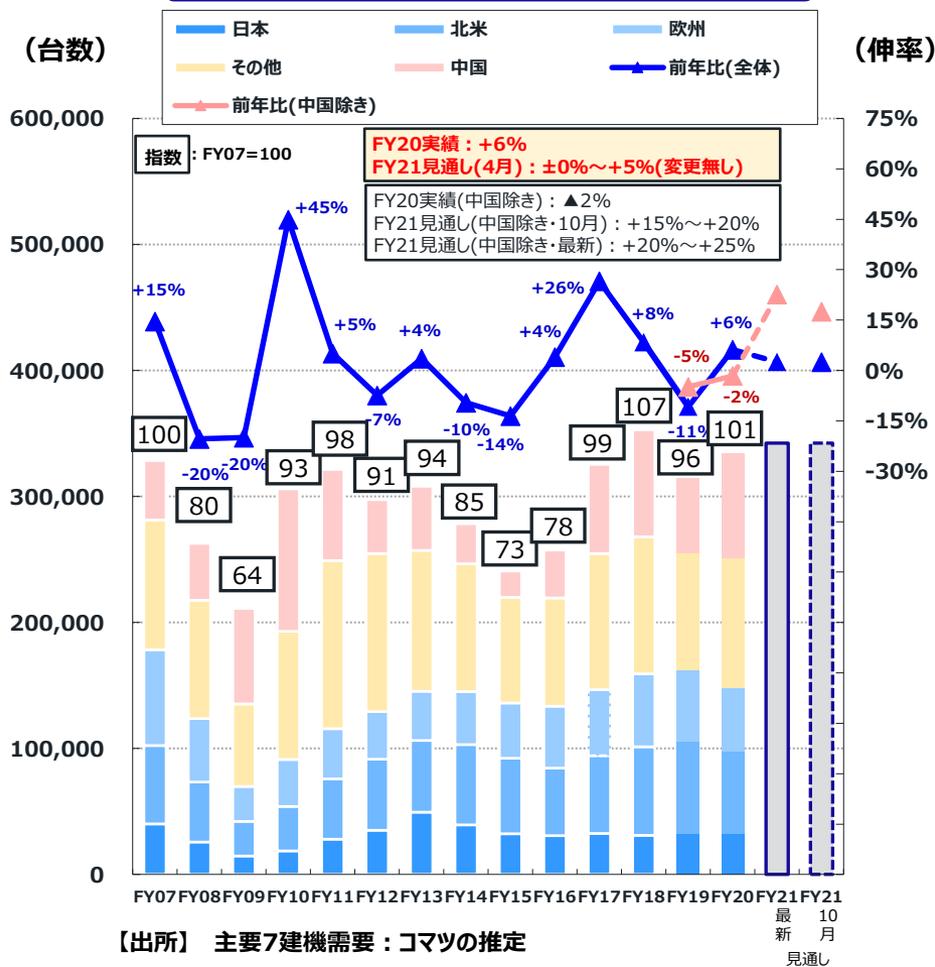
金額単位：億円	2020年度 (A) ¥106.0/USD ¥123.4/EUR ¥15.6/RMB	2021年度 (10月見通し) (B) ¥108.5/USD ¥128.6/EUR ¥16.8/RMB	2021年度 (4月見通し) ¥105.0/USD ¥124.0/EUR ¥16.0/RMB	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
連結売上高	21,895	26,830	24,690	+4,934	+22.5%
セグメント利益	1,723	2,820	2,250	+1,096	+63.6%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 50	0	0	+50	-
営業利益	1,673	2,820	2,250	+1,146	+68.5%
売上高営業利益率	7.6%	10.5%	9.1%	+2.9 ¹⁾ 1)	-
その他の収益(▲費用)	▲ 45	▲ 50	▲ 80	▲ 4	-
税引前純利益	1,627	2,770	2,170	+1,142	+70.2%
当社株主に帰属する当期純利益	1,062	1,870	1,460	+807	+76.0%
ROE	5.8%	9.6%	7.6%	+3.8 ¹⁾ 1)	
1株当たり配当金 (円)※	55円	80円	62円	+25円	
連結配当性向	48.9%	40.4%	40.1%		

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

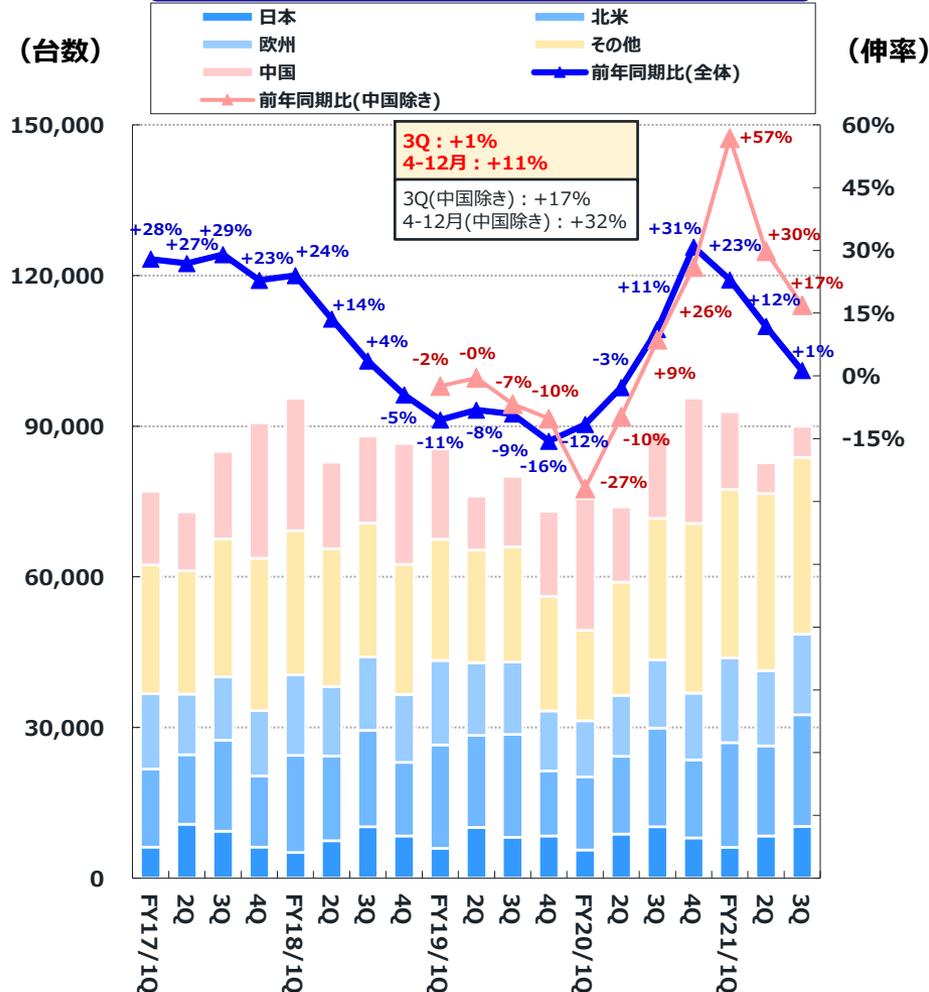
＜建設機械・車両＞ 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期並み。中国を除く地域では前年同期比+17%の増加。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- ・中国を除く地域では前年比+20%～+25%へ見直し。10月見通しに対し、最新の状況を織り込み。

主要7建機 年度別需要推移



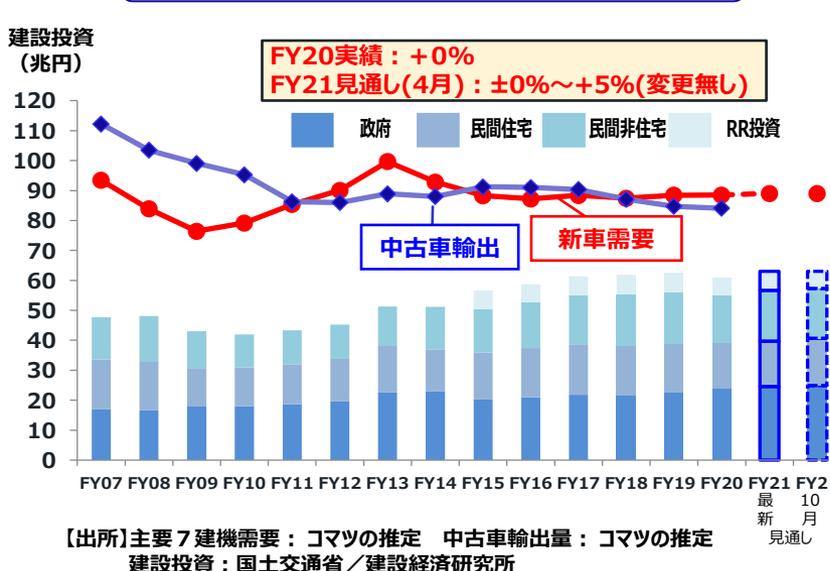
主要7建機 四半期別需要推移



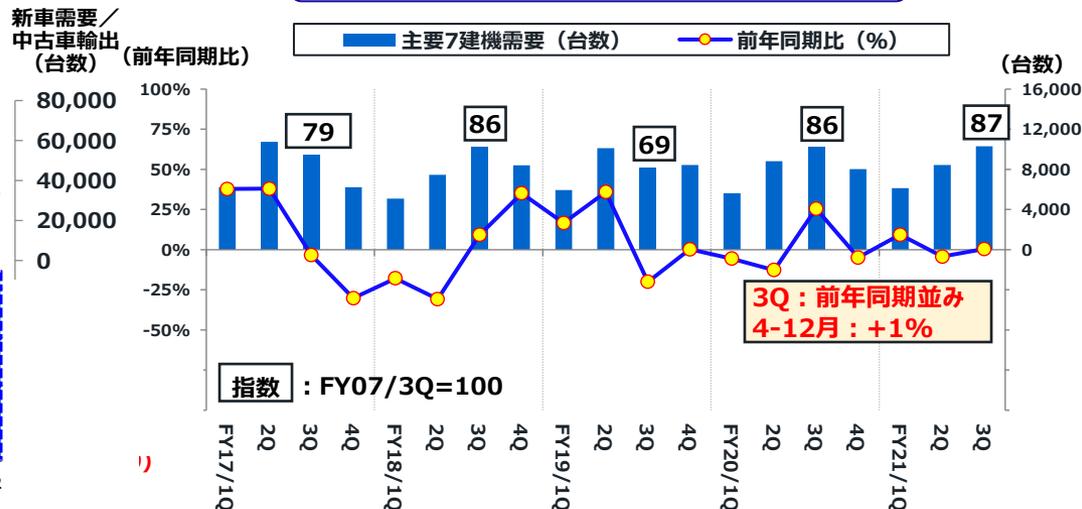
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期並み。
- ・公共工事に加え、民間工事も堅調で、需要は底堅く推移。
- ・2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

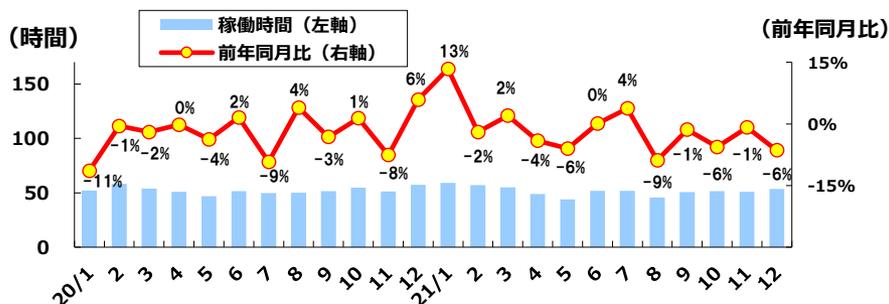
新車需要（主要7建機）と建設投資



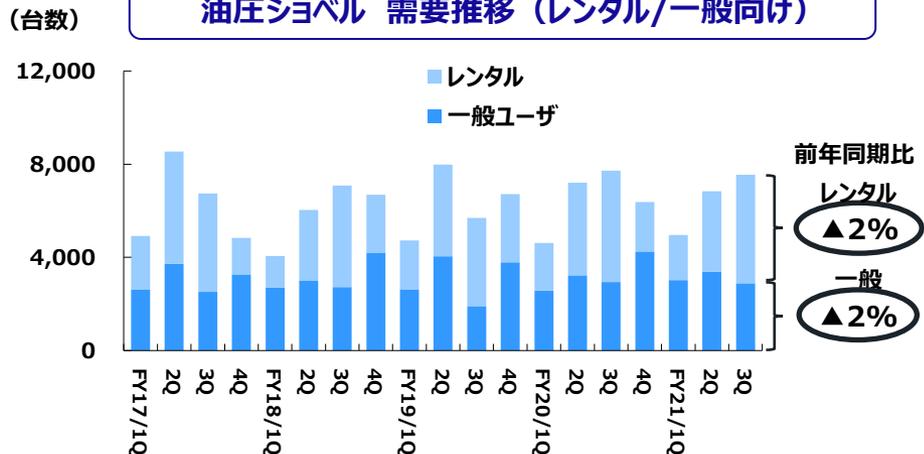
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax（日本）月平均稼働時間推移



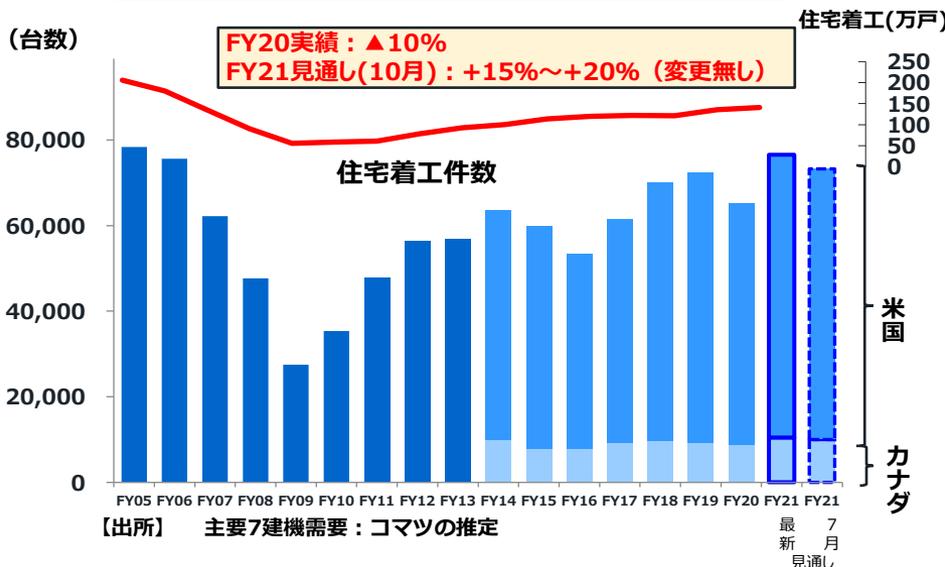
油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



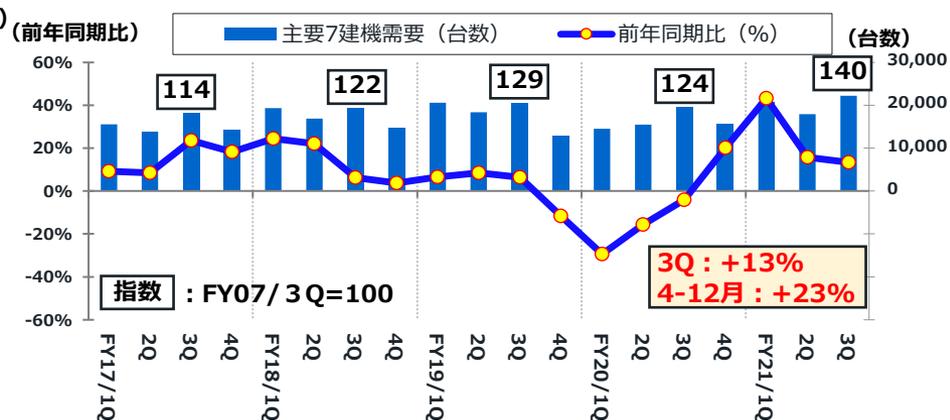
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期比+13%増加。
- ・住宅・非住宅、道路交通向けが堅調に推移、レンタル向けも回復が続く。
- ・2021年度の需要は、前年比+15%~+20%の見通し（10月見通しから変更無し）。

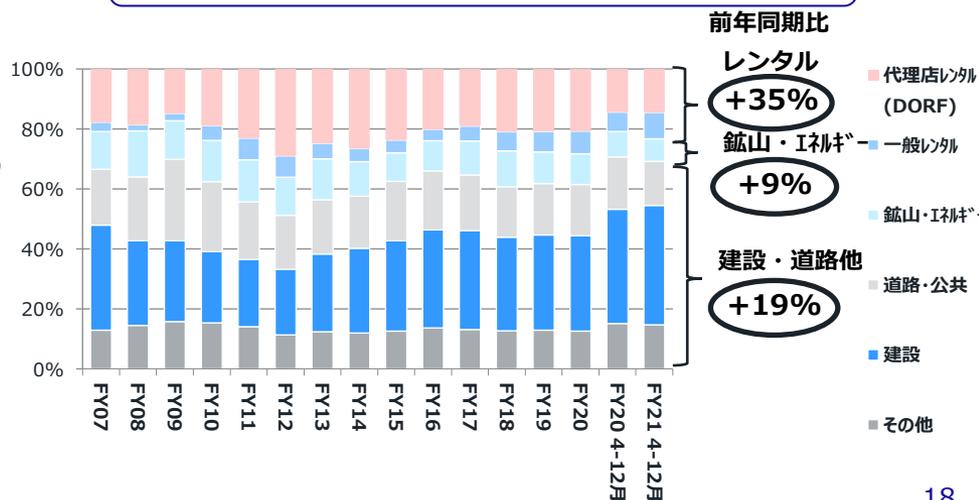
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



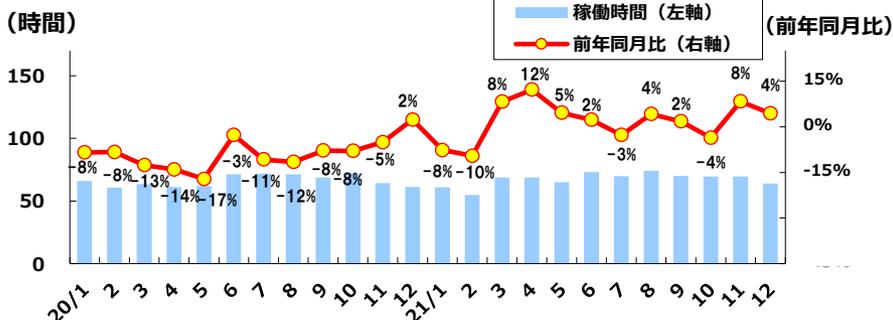
主要7建機 四半期需要推移



セグメント別需要構成比 (台数ベース)



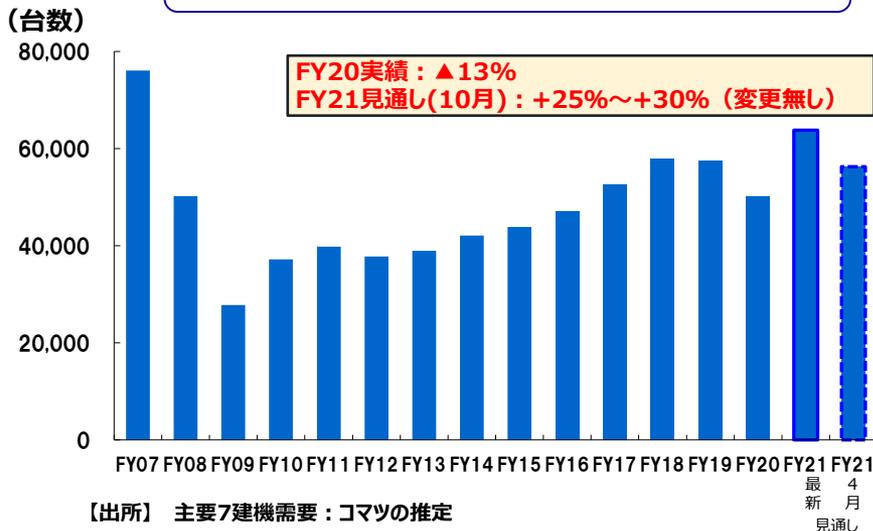
Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



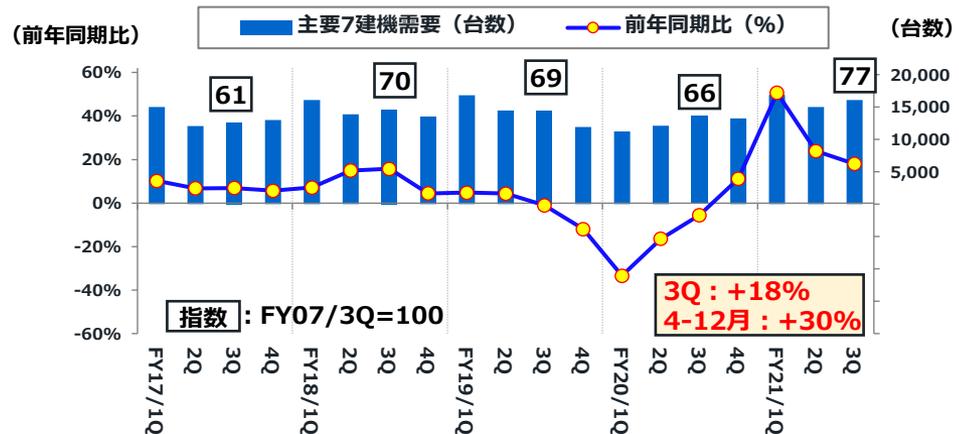
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ③ 欧州

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期比+18%増加。
- ・景気下支え策の影響などにより、英仏独やイタリアを中心に需要が増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+25%～+30%の見通し（10月見通しから変更無し）。

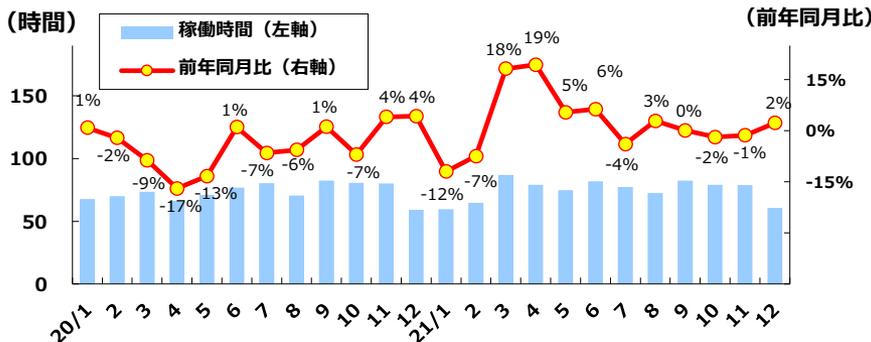
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（欧州） 月平均稼働時間推移



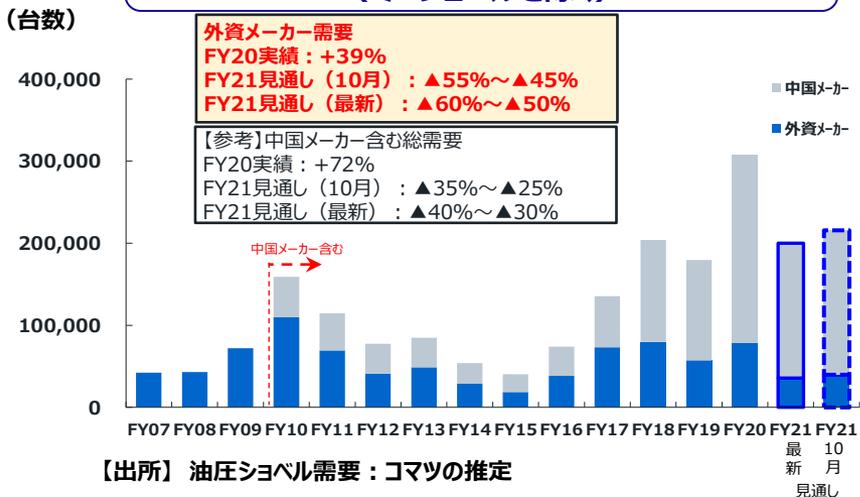
主要7建機（6tクラス除く）地域別需要



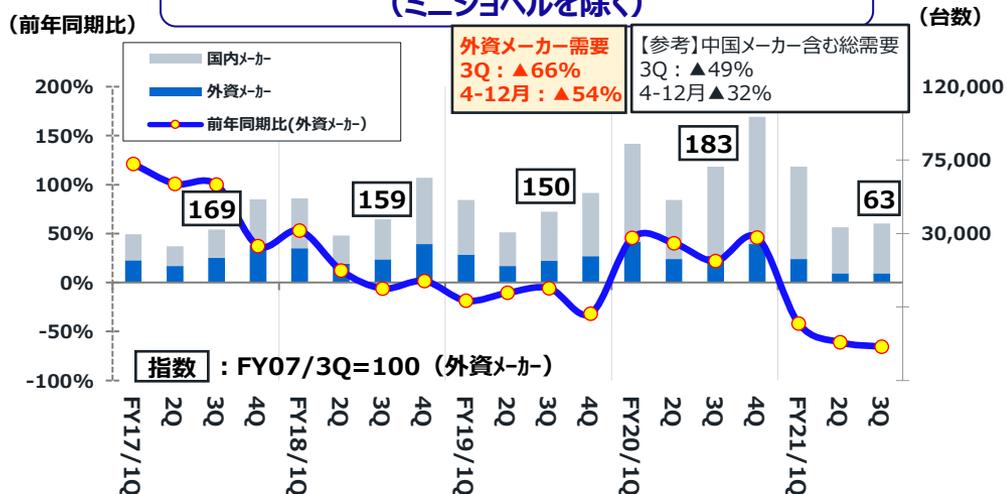
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：④ 中国

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期比▲66%減少。
- ・インフラ投資の停滞などにより、需要は大幅に減少。
- ・2021年度の需要は、前年比▲60%～▲50%へ見直し。

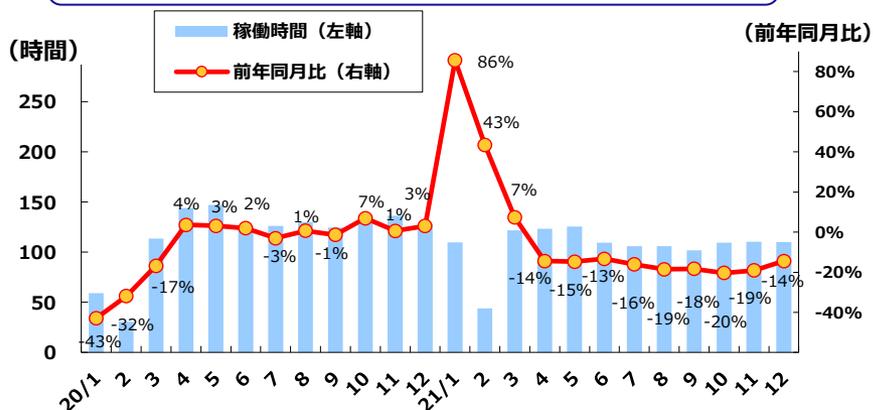
油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



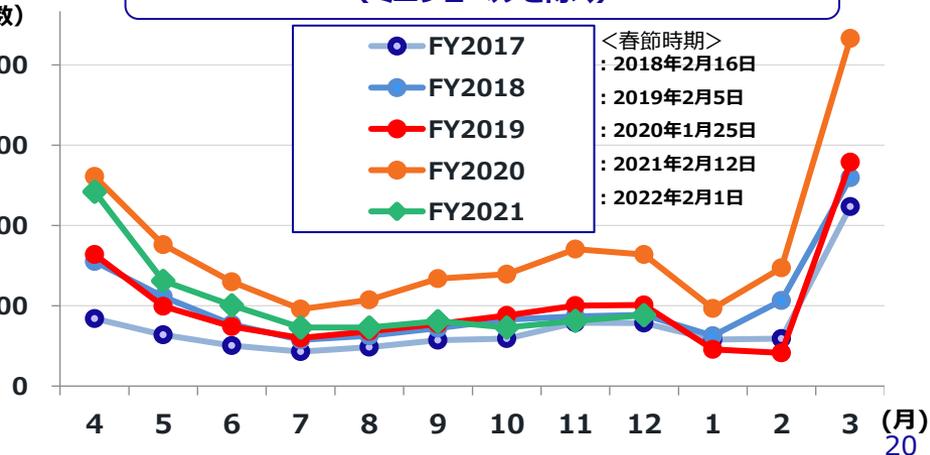
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



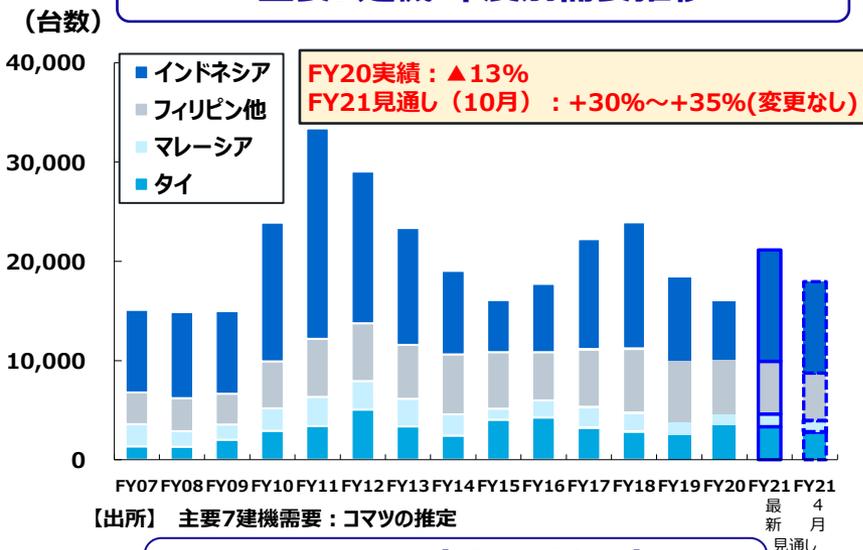
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



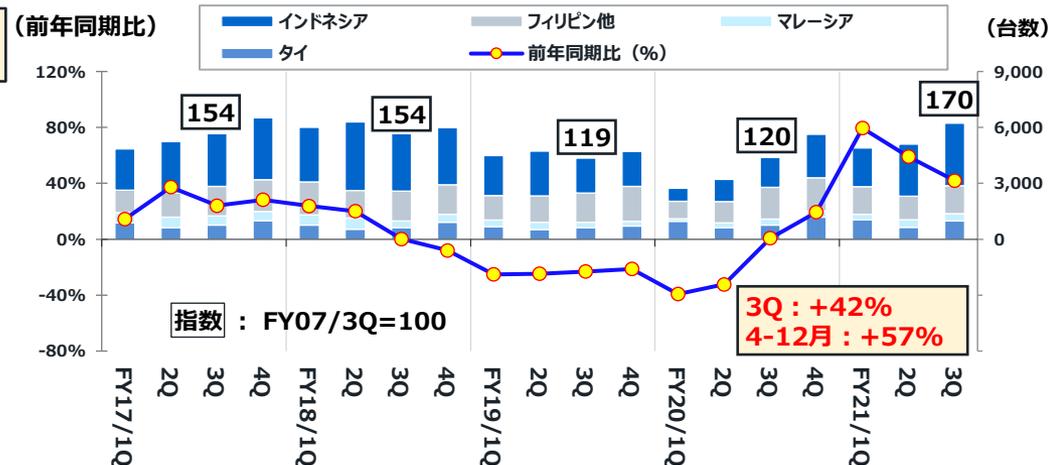
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し： ⑤ 東南アジア

- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期比+42%増加。
- ・最大市場のインドネシアをはじめ、タイやフィリピンなどで需要が増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+30%~+35%の見通し（10月見通しから変更無し）。

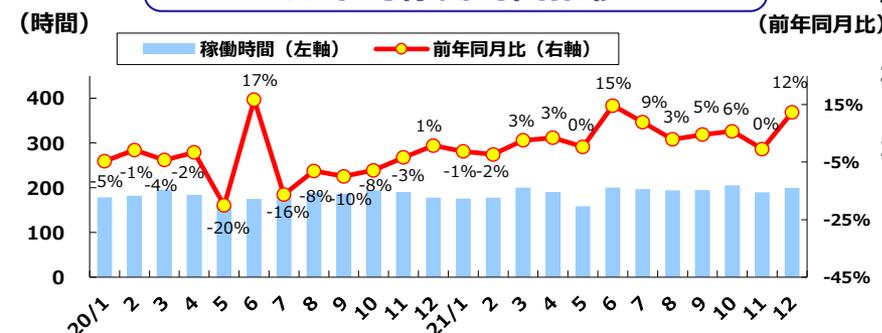
主要7建機 年度別需要推移



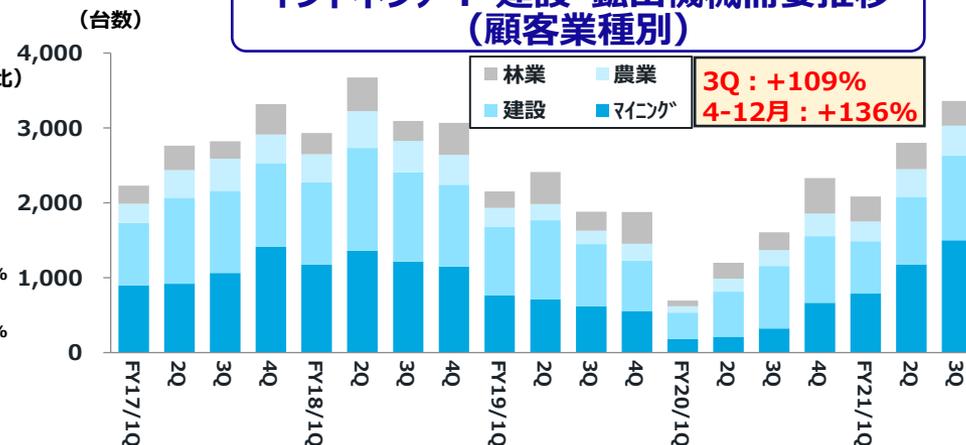
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax（インドネシア） 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)

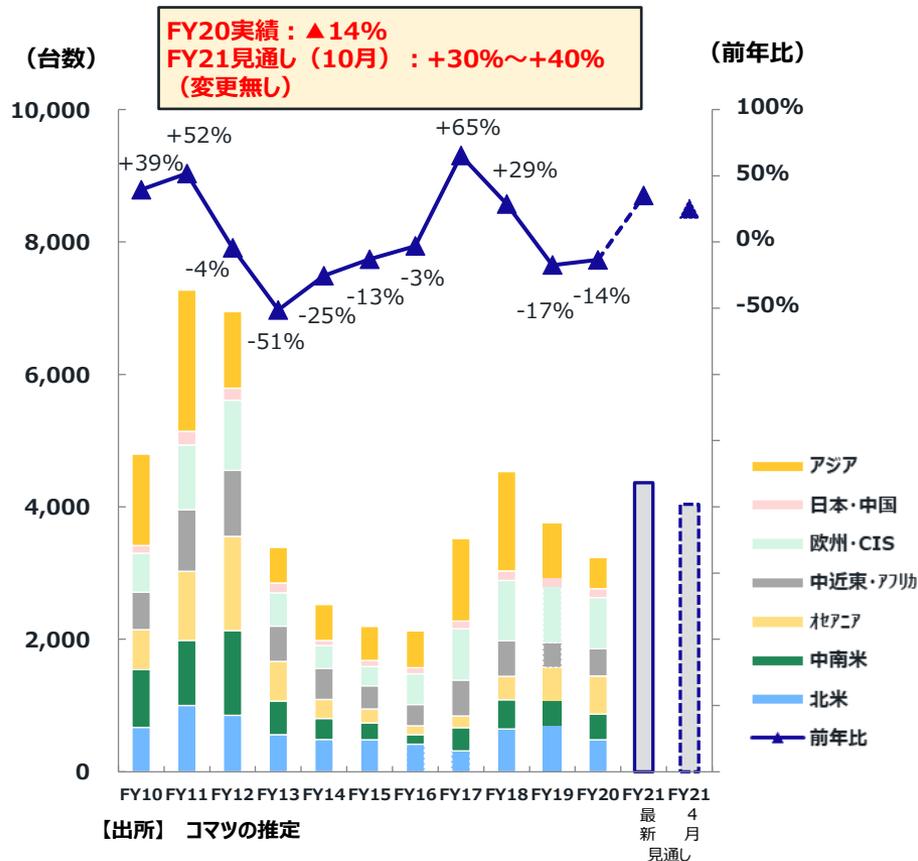


＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

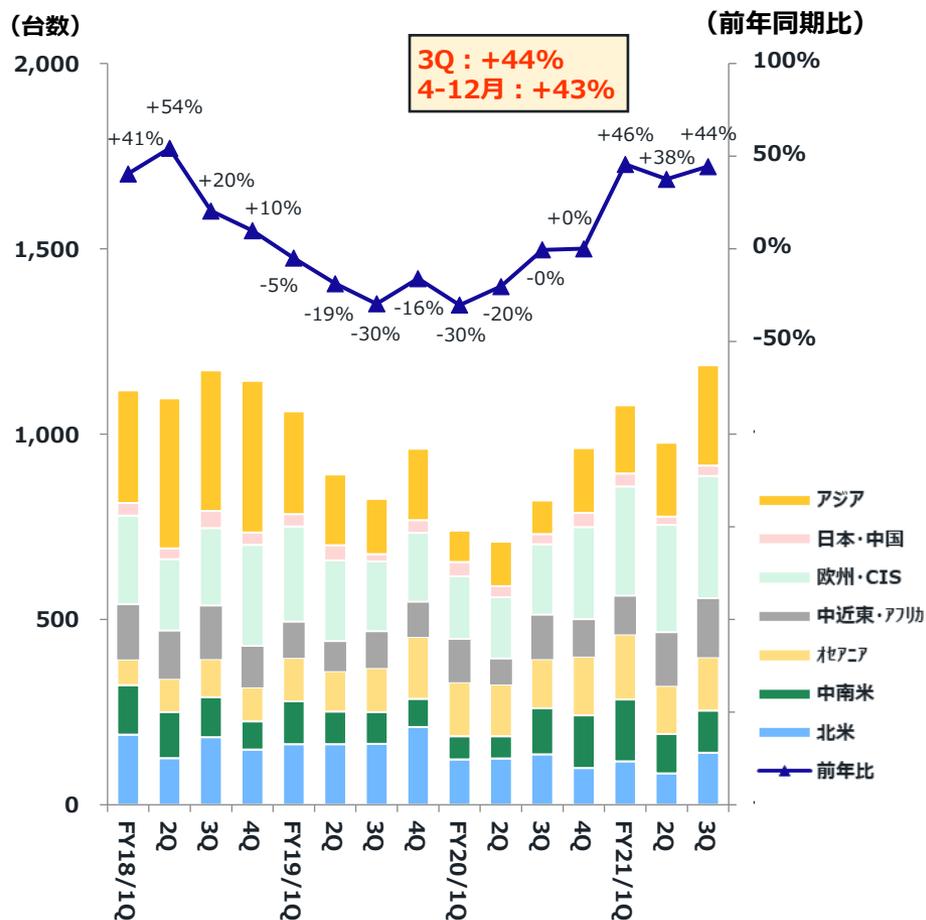
- ・2021年度第3四半期の需要は、前年同期比+44%増加。
- ・主にアジア、CIS、チリ、オセアニアで増加。
- ・2021年度の需要は、前年比+30%～+40%の見通し（10月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移

- ・ダンプトラック：75 t（HD785）以上
- ・フルパワー：525HP（D375）以上
- ・エクスカベータ：200 t（PC2000）以上
- ・ホイローダー（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターグレーダー：280HP（GD825）以上



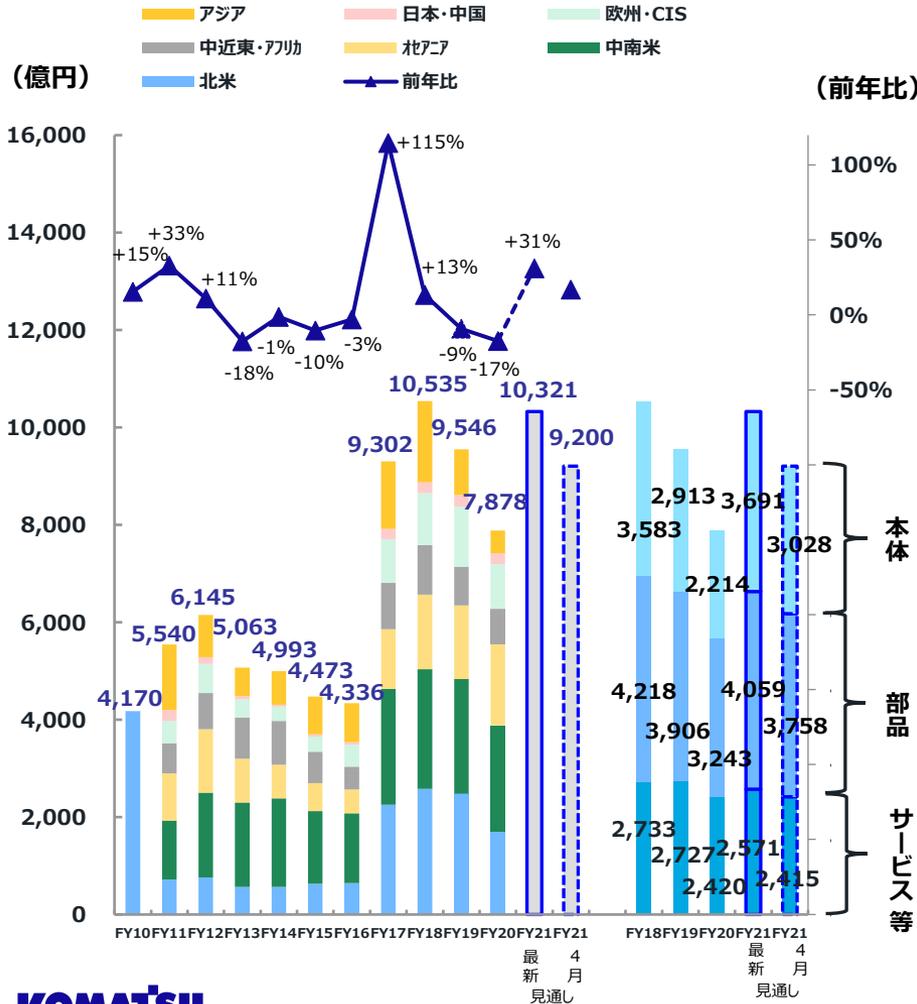
鉱山機械 四半期別需要推移



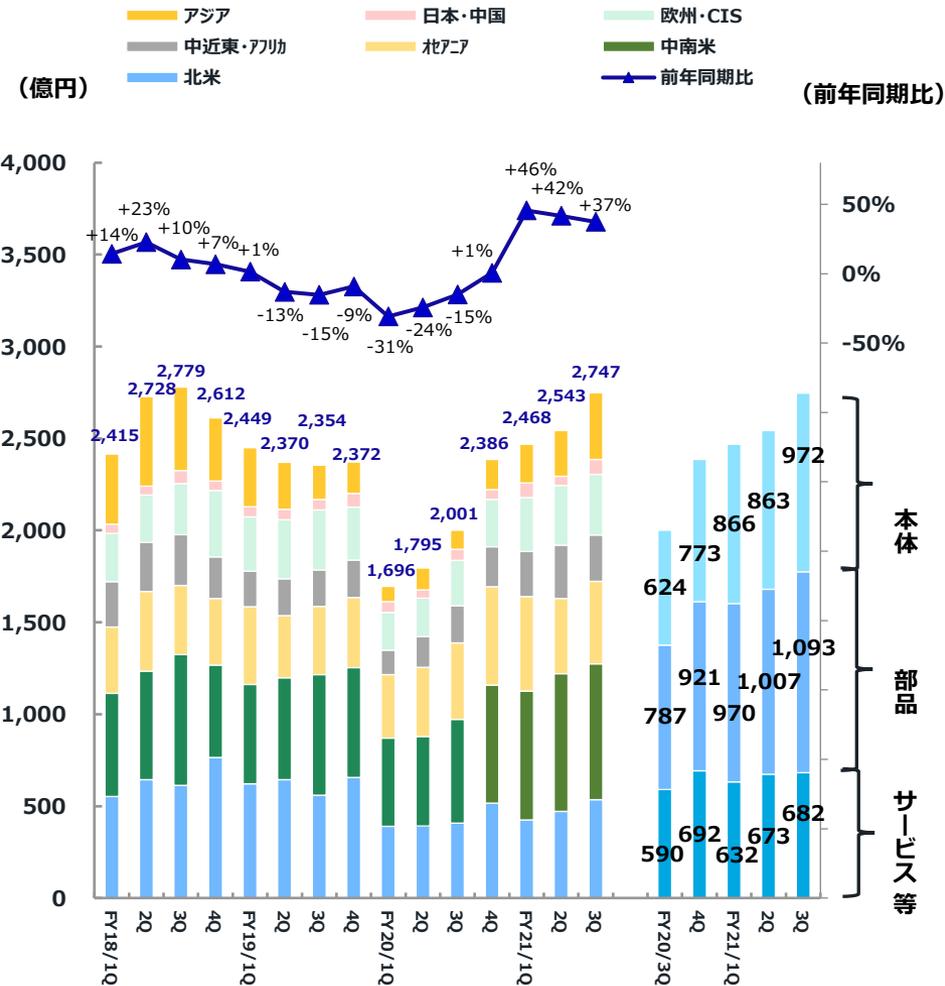
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2021年度第3四半期の売上高は、前年同期比+37%増収の2,747億円。
- ・2021年度の売上高の見通しは前年比+31%増収の1兆321億円。

鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)



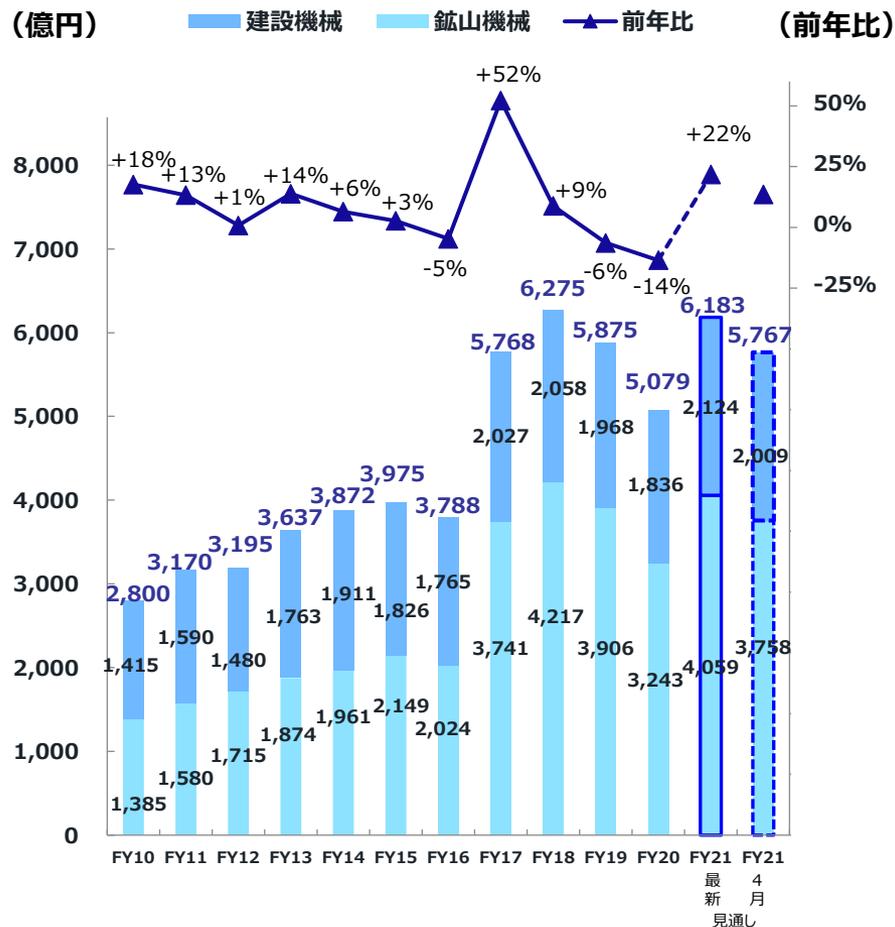
鉱山機械 四半期別売上高 (部品・サービス等含む)



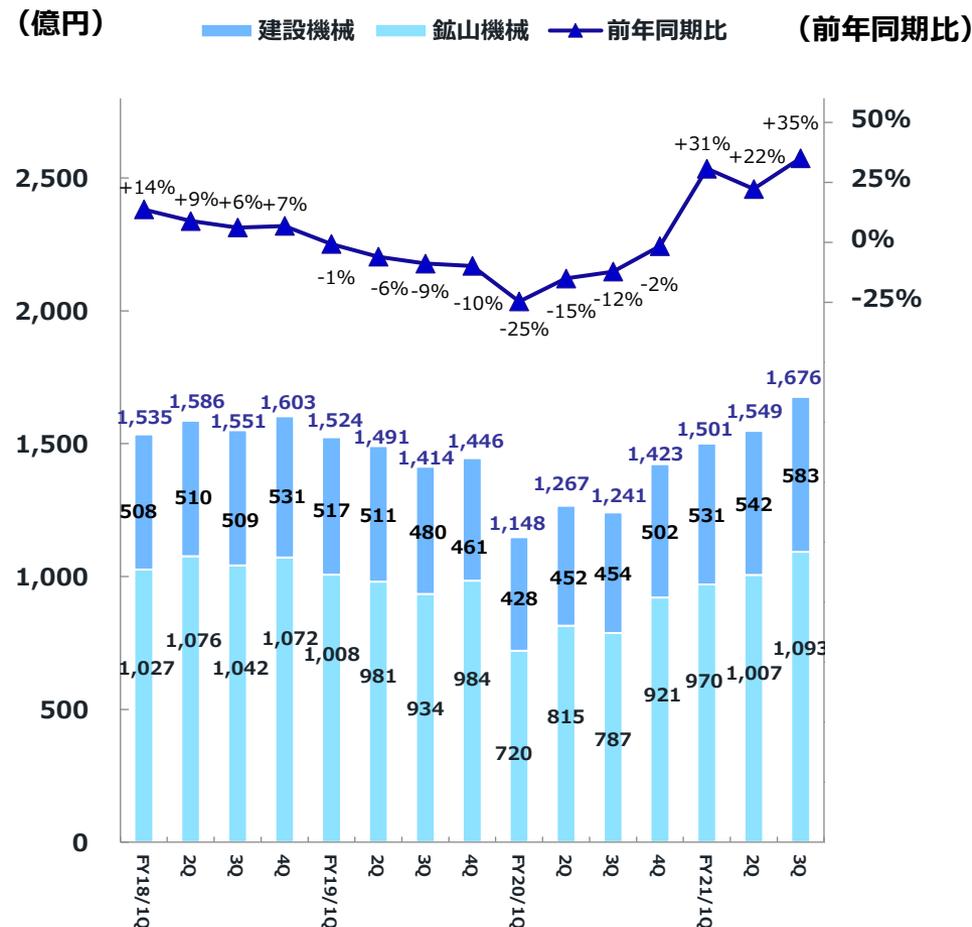
<建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

- ・2021年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比+35%増収の1,676億円。
- ・2021年度の部品売上高の見通しは前年比+22%増収の6,183億円。

部品 年度別売上高



部品 四半期別売上高

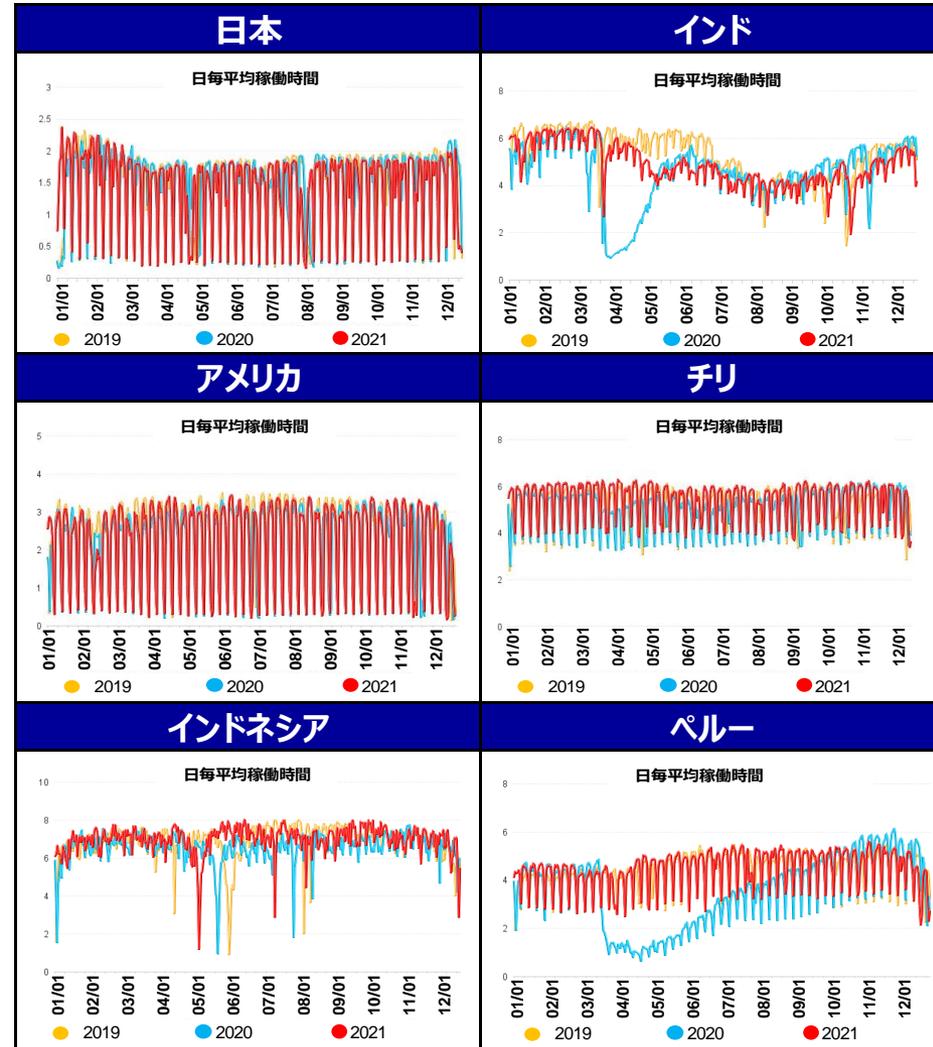
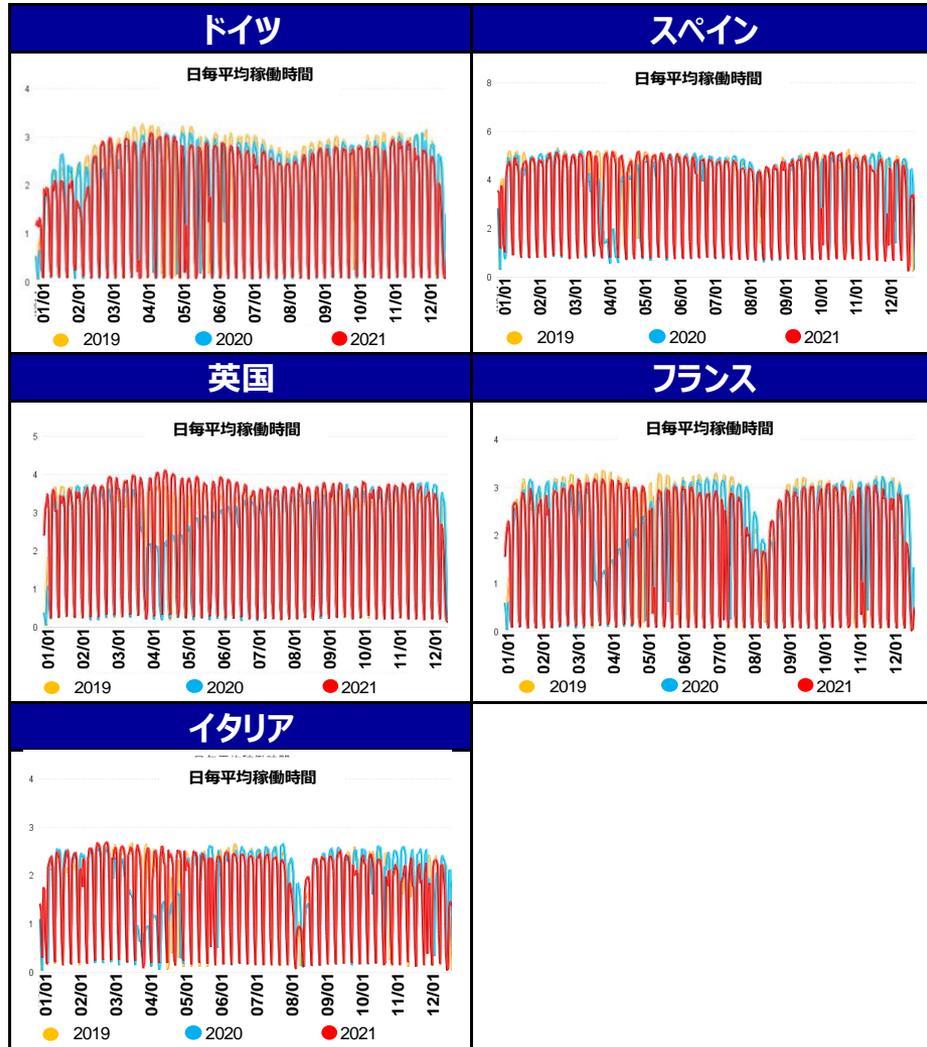


参考資料

【参考資料】Komtrax日次平均稼働時間推移

欧州主要国

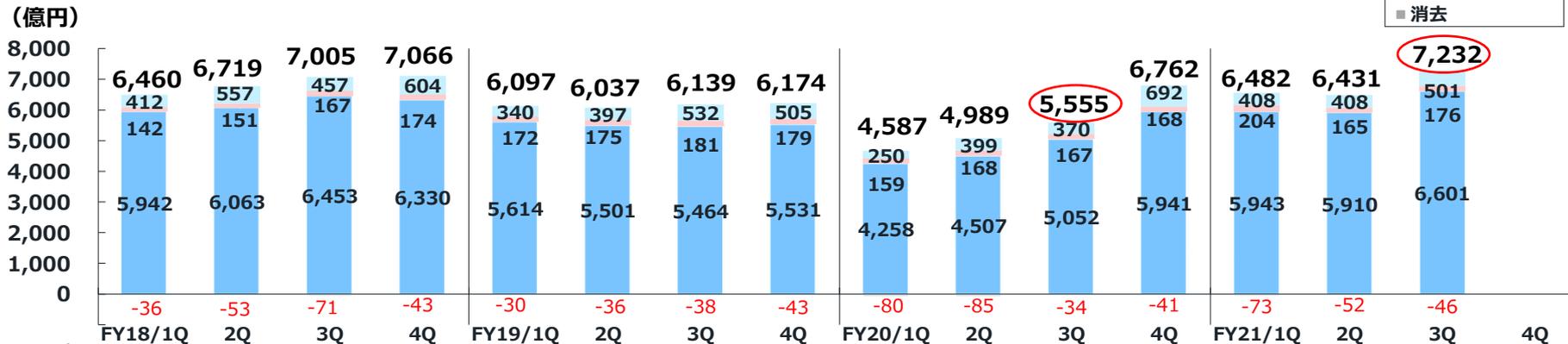
その他主要地域



日次平均稼働時間:Komtraxを搭載した当社製建設機械の一台当たり一日平均稼働時間

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

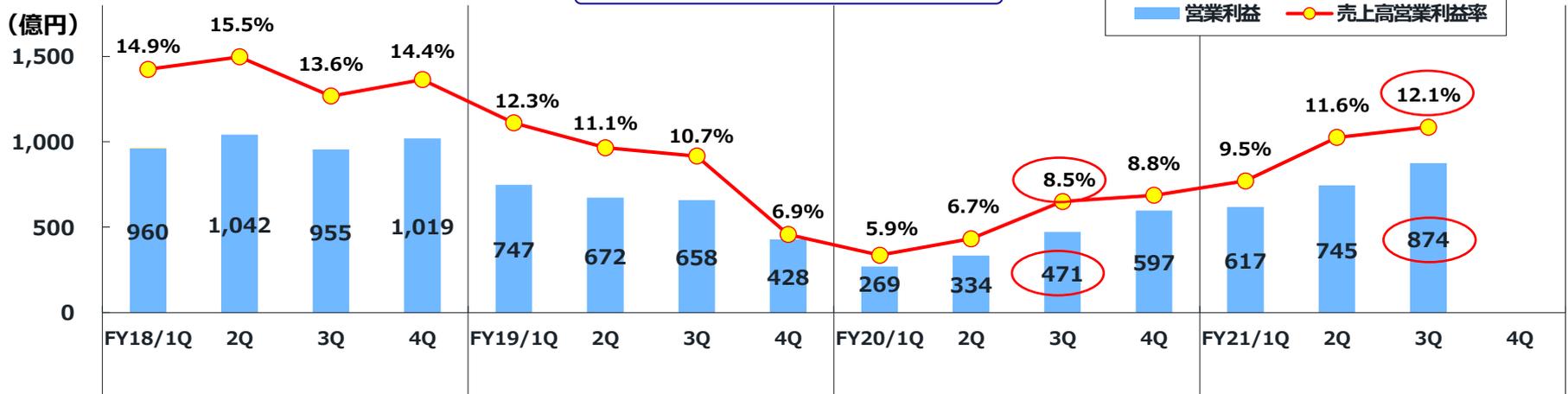
連結売上高 (FY18~)



為替
レート

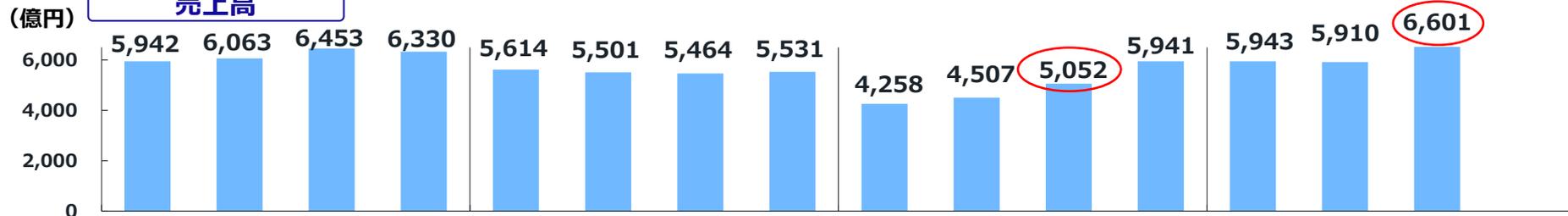
	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1	17.6	

営業利益 (FY18~)



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

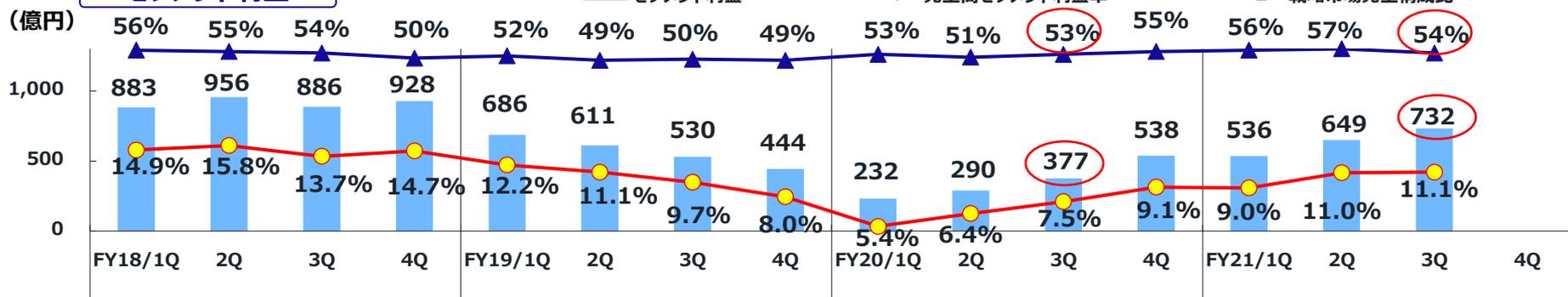
売上高



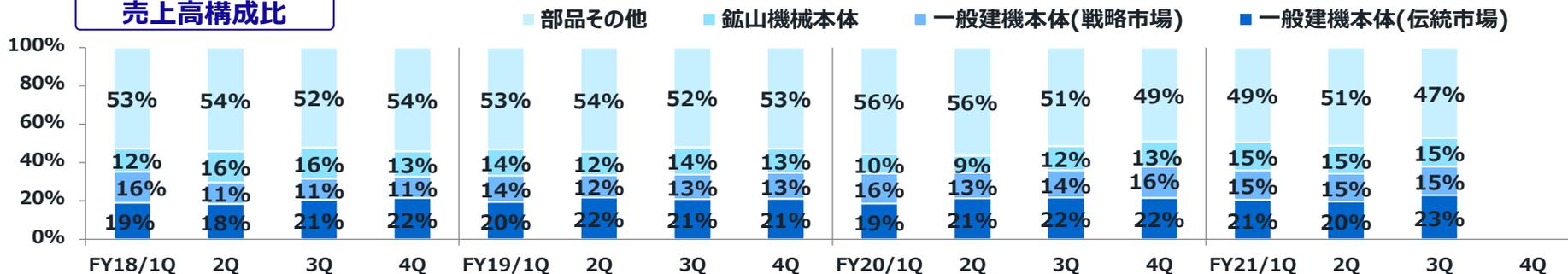
為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	-
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	-
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1	17.6	-

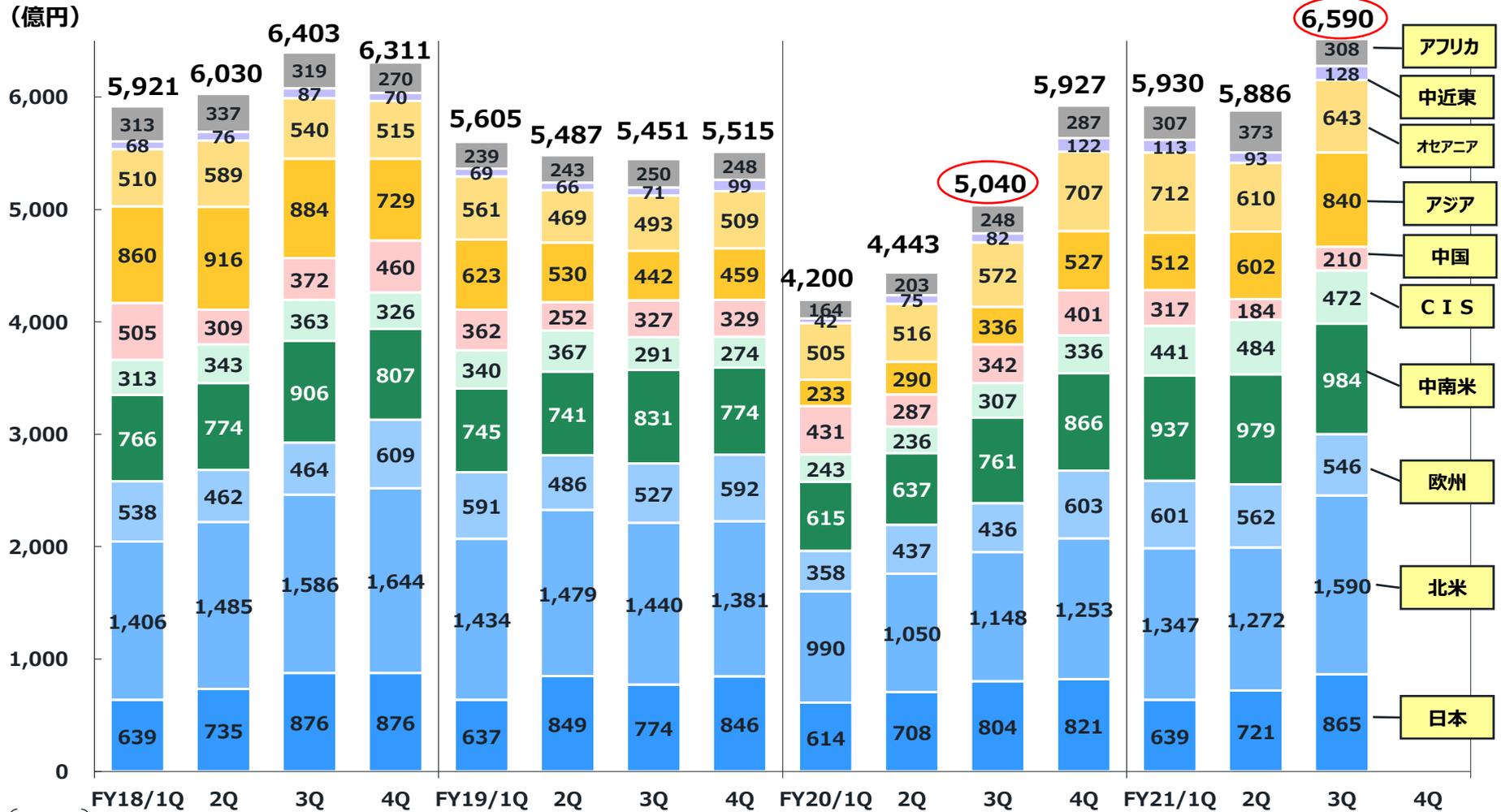
セグメント利益



売上高構成比



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）

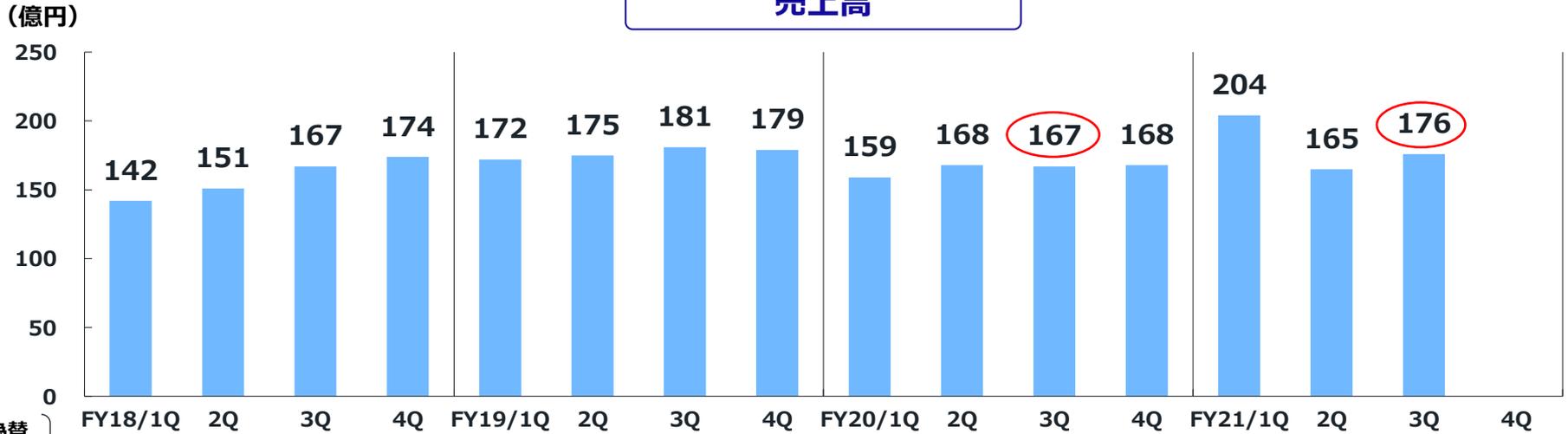


為替レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1	17.6	

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

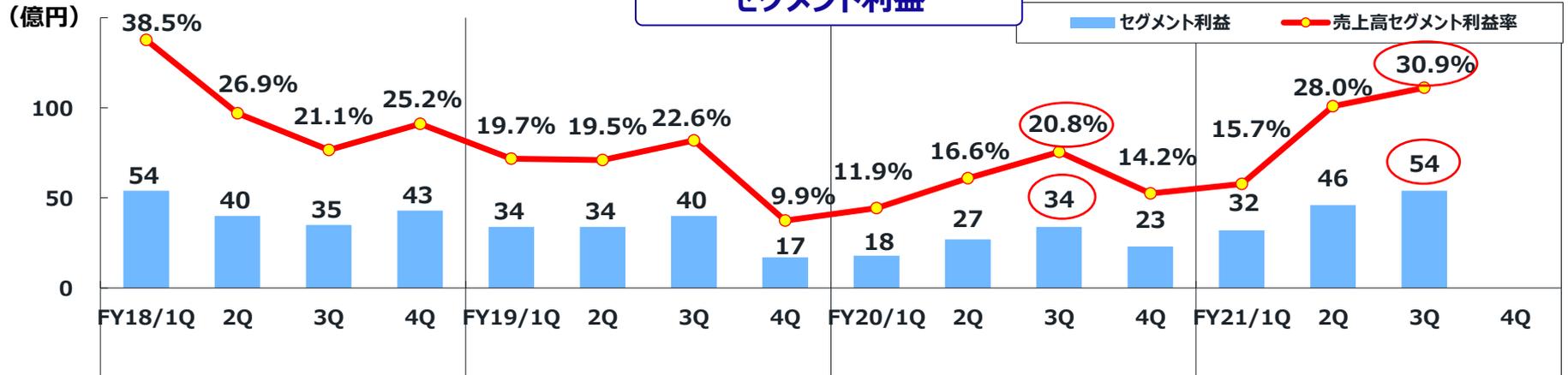
売上高



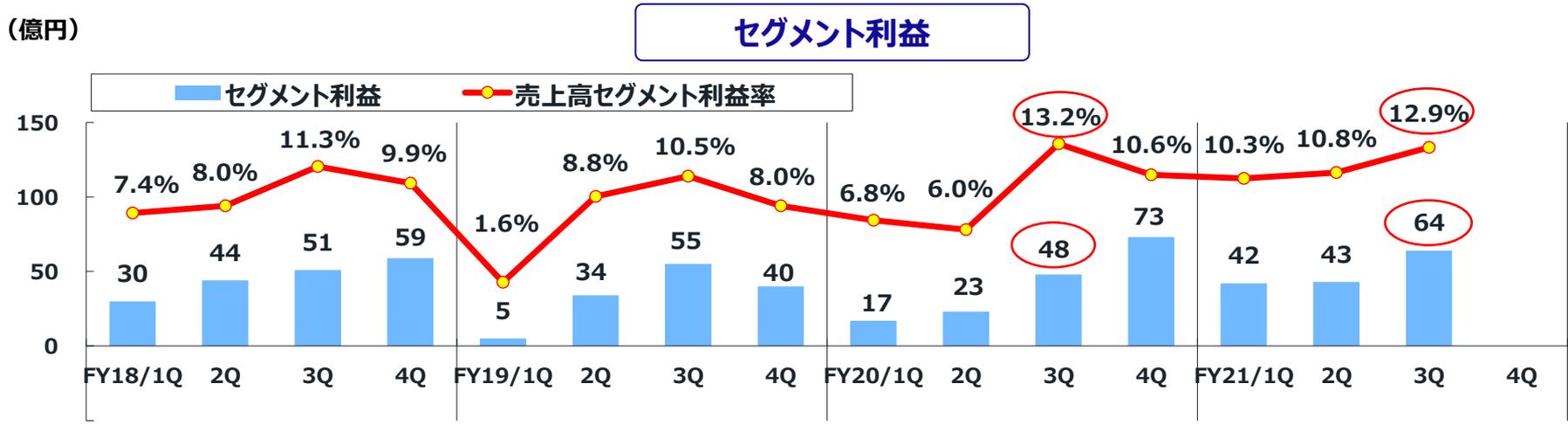
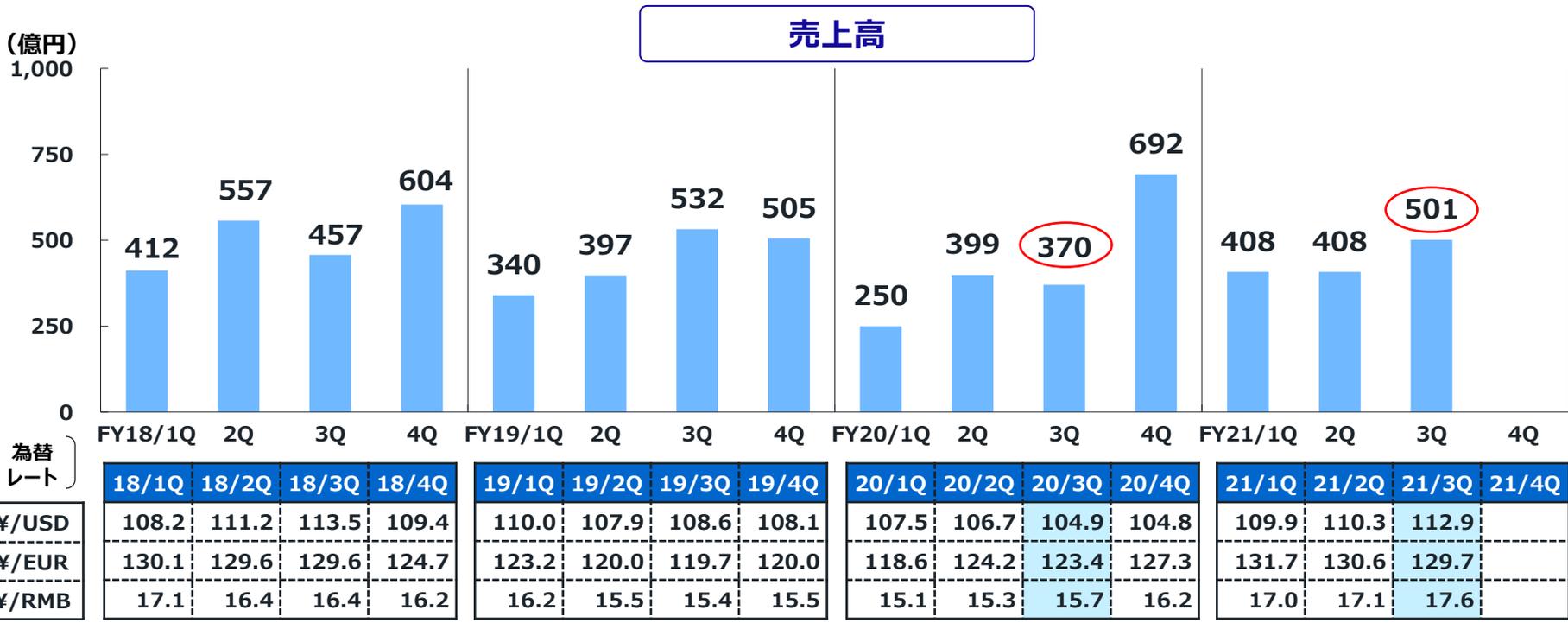
為替
レート

	18/1Q	18/2Q	18/3Q	18/4Q	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q
¥/USD	108.2	111.2	113.5	109.4	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	-
¥/EUR	130.1	129.6	129.6	124.7	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	-
¥/RMB	17.1	16.4	16.4	16.2	16.2	15.5	15.4	15.5	15.1	15.3	15.7	16.2	17.0	17.1	17.6	-

セグメント利益



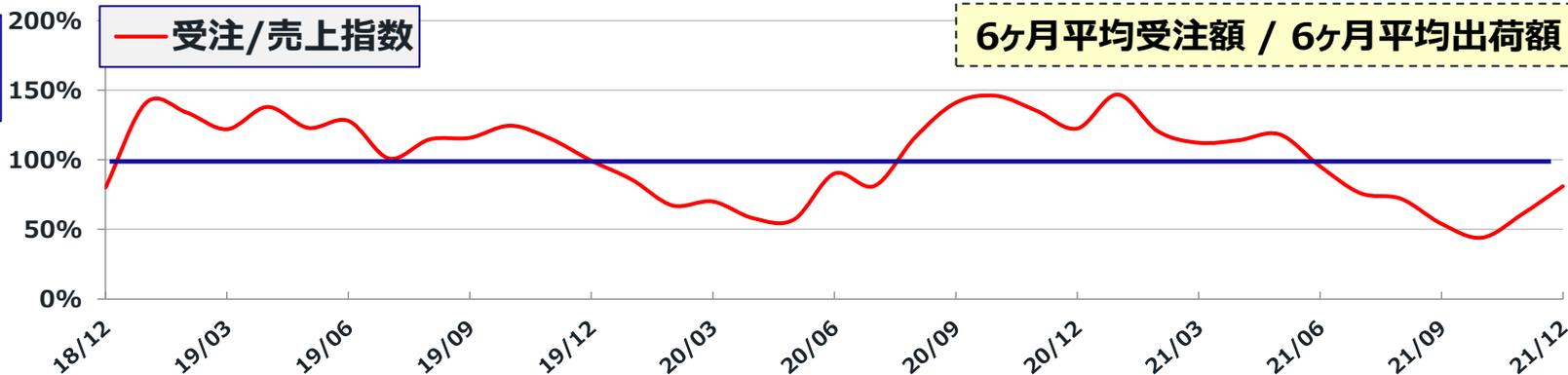
【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

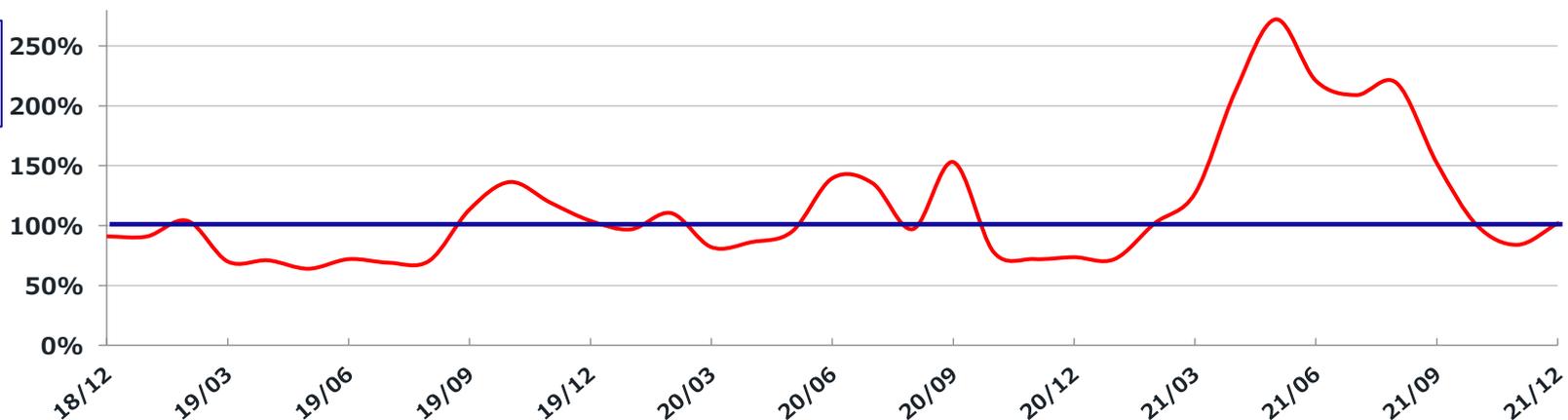
コマツアメリカ (マイニング)

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



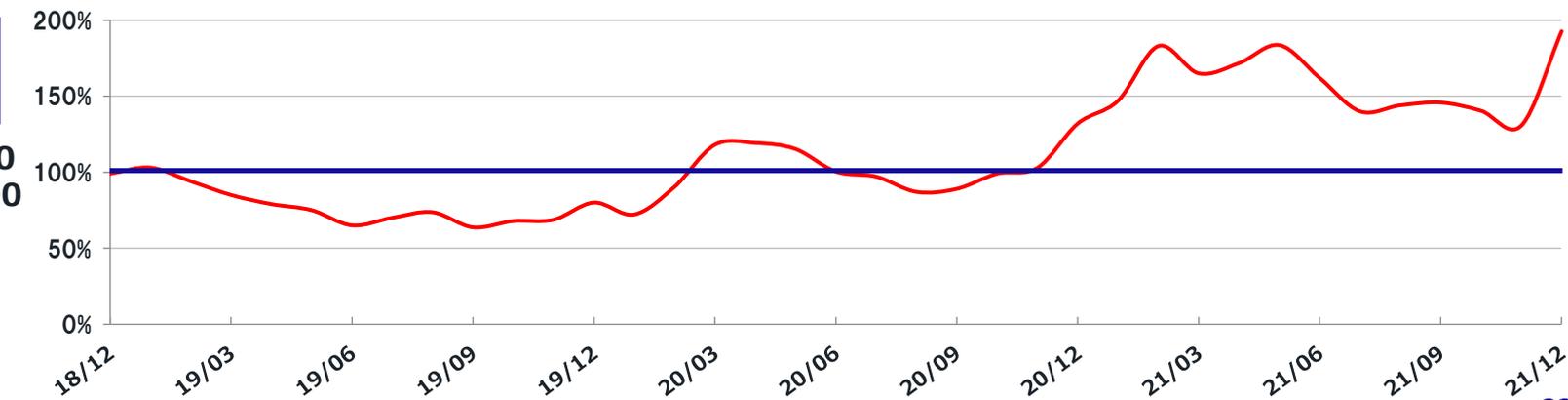
コマツドイツ (マイニング)

PC3000
PC4000
PC5500
PC7000
PC8000



コマツ単独 (マイニング)

HD785, HD1500
PC2000, PC3000
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up



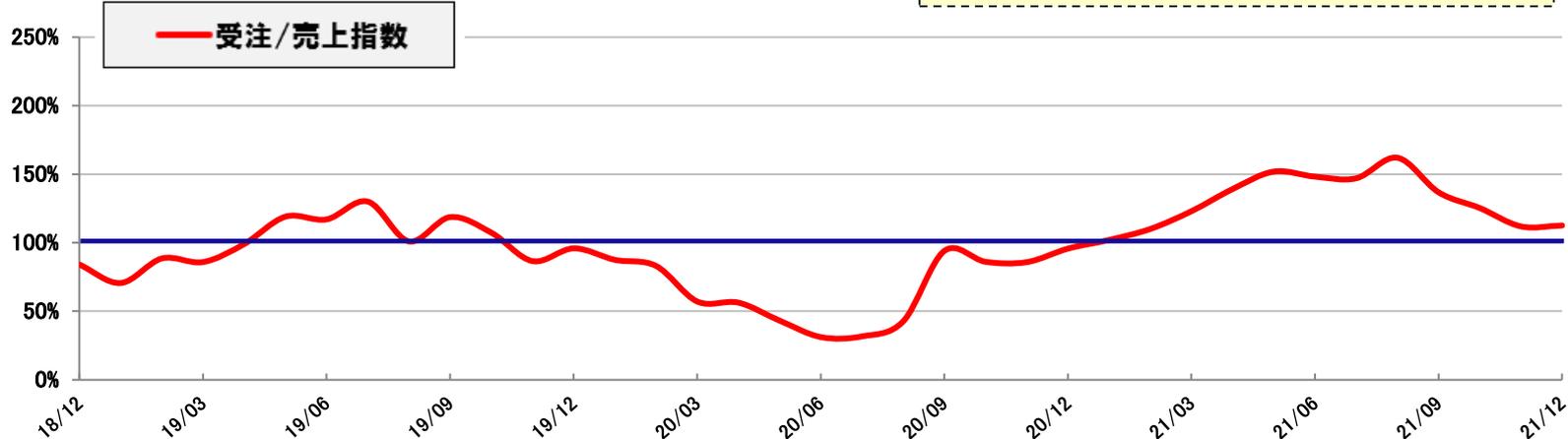
【参考資料】Bレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

<露天掘り>
ロープショベル
ブラストホールドリル
ドラグライン他

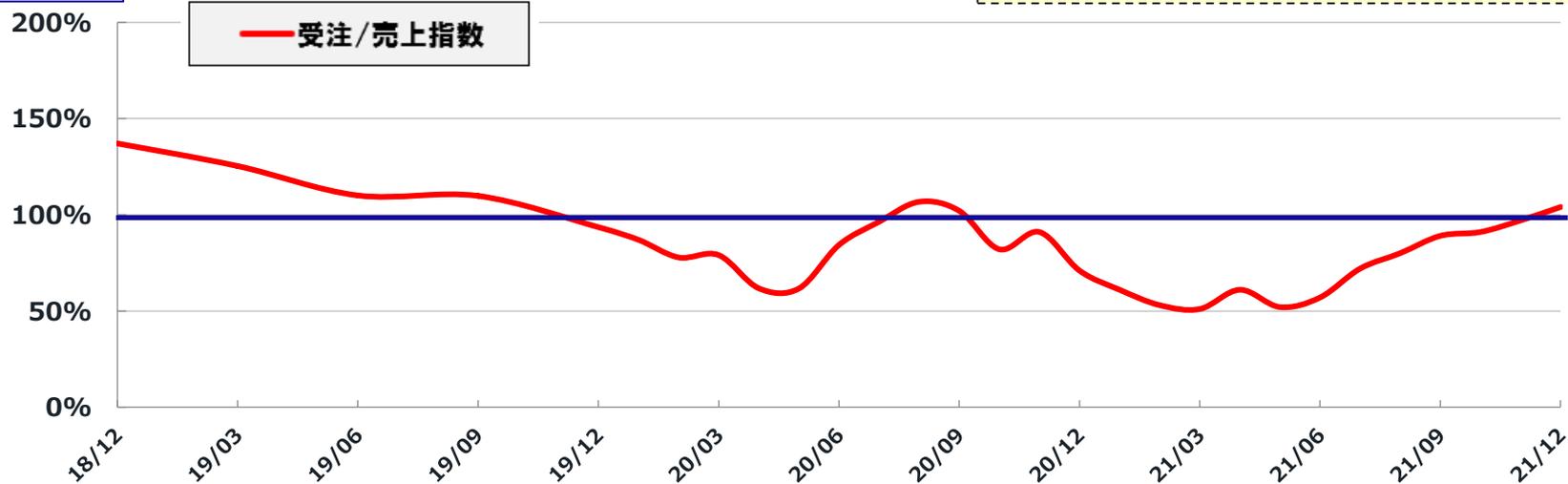
<坑内掘り>
コンティニュースマイナ
シアラー
ロードホールダンブ
ドリルジャンボ他



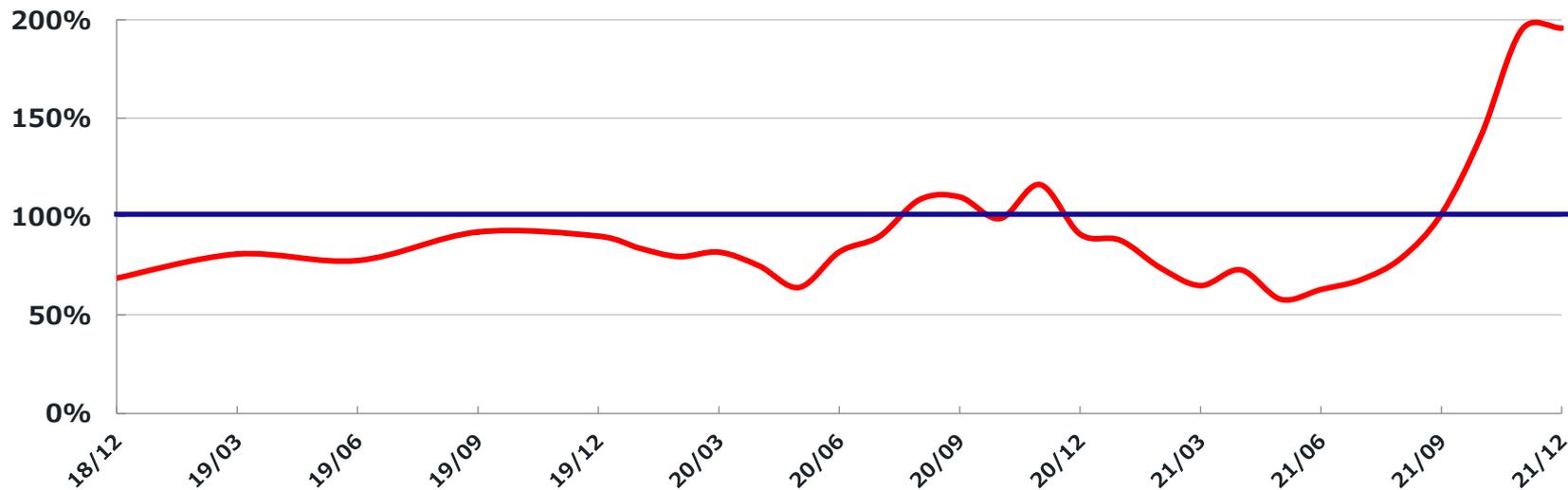
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



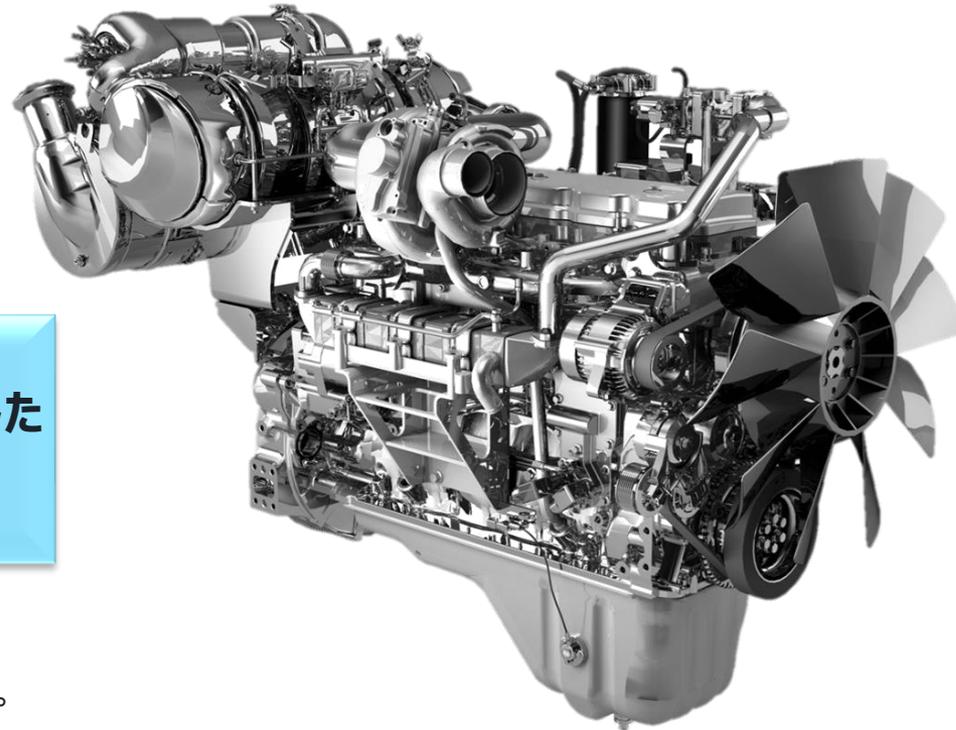
コマツNTC



- カーボンニュートラル実現を加速 -
コマツ、デンヨーの水素混焼発電機の開発にエンジン提供と技術協力

・コマツは、デンヨー株式会社が取組みむ250kW水素混焼発電機の開発に関して、発電機用エンジンの提供およびエンジン分野における技術協力を発表しました。

(2021年11月11日 ニュースリリース)



自社開発・生産の強みを生かした
内燃機関の研究開発を促進

水素エンジン開発のロードマップ^o



大型ブルドーザー「D475A-8R」 大型油圧ショベル「PC2000-11R」を新発売

・大型ブルドーザー「D475A-8R」、及び、大型油圧ショベル「PC2000-11R」を1月より発売しました。最新技術を随所に織り込み、オペレーターの安全性・作業の快適性を追求し、生産性が大きく向上しました。

(2022年1月11日 ニュースリリース)



D475A-8R
(生産性16%向上)

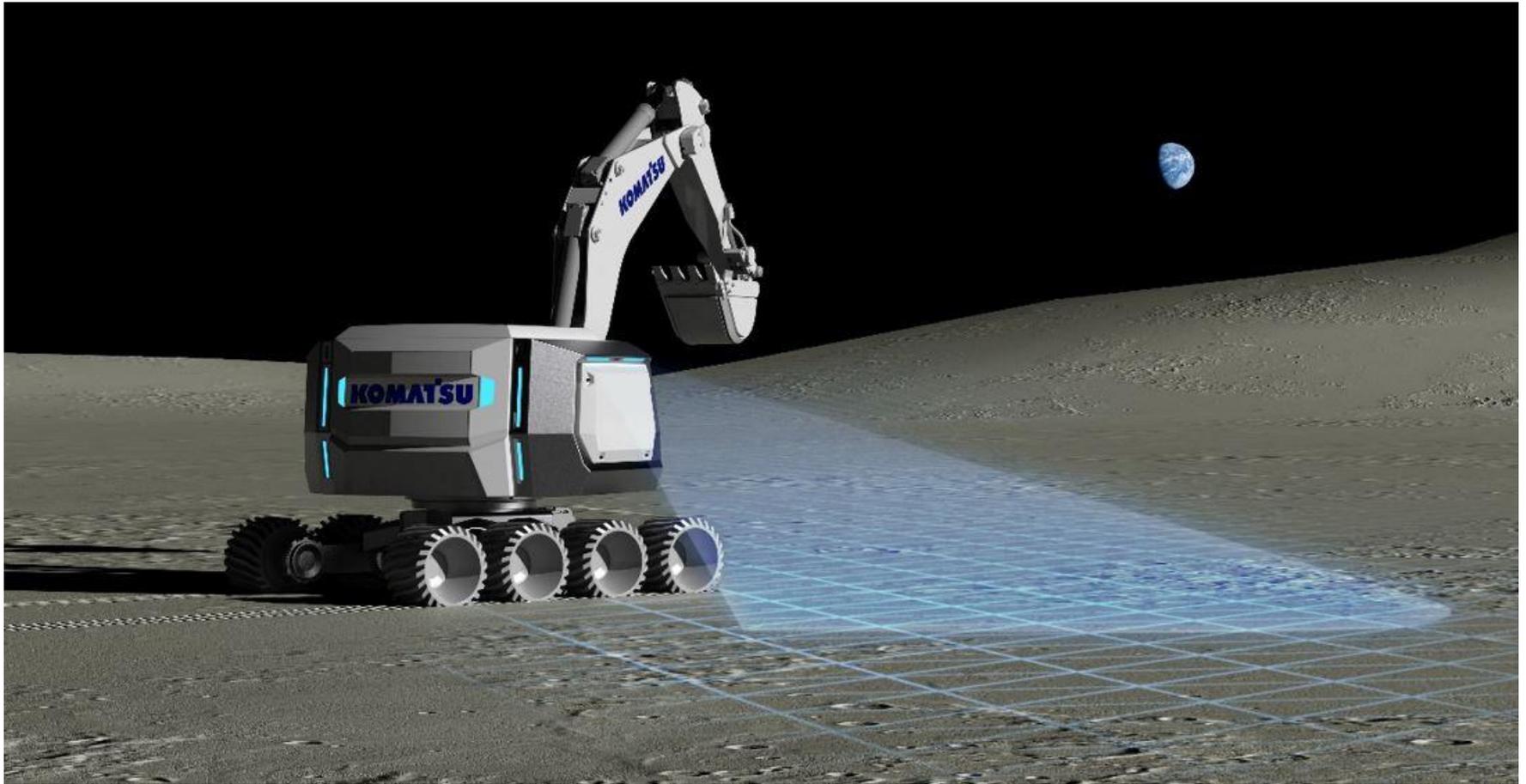


PC2000-11R
(生産性12%向上)

国土交通省 宇宙無人建設革新技術開発の実施対象に選定 -月面等での建設活動に資する無人建設革新技術開発推進プロジェクト-

・国土交通省が「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」(スターダストプログラム)の一環として、2021年7月に決定した「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」の公募に応募し、このたび、「無人建設(自動化・遠隔化)に係る技術」の実施対象の一つとして、コマツの「月面建設機械のデジタルツイン技術構築」が選定されました。

(2021年11月18日 ニュースリリース)



ESGへの取組み：外部評価

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

世界の代表的なSRI(社会的責任投資)指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシーズワールドインデックス」に選定されました。

(2021年11月15日 ニュースリリース)



環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPにより「気候変動」および「水セキュリティ対策」Aリスト企業と認定されました。

(2021年12月08日 ニュースリリース)

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。